

注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分： 専門職短期大学の設置

注1

認可

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人ヤマザキ学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

シムキョクチョウ ムラノ ヒロアキ
事務局長・村野 弘明

電話番号

03-3468-1101

（夜間）

03-3468-1101

e-mail

soumu-t@yamazaki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

＜動物トータルケア学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人ヤマザキ学園

(2) 大学名

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒150-0046

東京都渋谷区松濤2-3-10

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマザキ カオル) 山崎 薫 (平成6年6月)		
学長	(ヤマキタ ノブヒサ) 山北 宣久 (平成31年4月)		
学部長	—		
学科長等	(ハナダ ミチコ) 花田 道子 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
動物トータルケア学科 動物看護短期大学士（専門職）	農学関係	3年	80人	— 年次人	240人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	1.07倍	—倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	66 (—) [—]	— (—) [—]	125 (—) [—]	— (—) [—]	216 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	64 (—) [—]	— (—) [—]	120 (—) [—]	— (—) [—]	211 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	64 (—) [—]	— (—) [—]	105 (—) [—]	— (—) [—]	110 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	61 (—) [—]	— (—) [—]	95 (—) [—]	— (—) [—]	103 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		0.76		1.18		1.28				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ [] ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	61 [-] (-)	- [-] (-)	95 [-] (-)	- [-] (-)	106 [-] (-)	- [-] (-)	令和3年度 1年次 106人中原級留置3人 2年次 91人中原級留置1人 計 251人中原級留置4人
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	58 [-] (-)	- [-] (-)	91 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	54 [-] (-)	- [-] (-)			
4年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)				
計			- [-] (-)	- [-] (-)	61 [-] (-)	153 [-] (-)	251 [-] (-)				

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	61 人	3 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
令和2年度	153 人	5 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人) 海外留学(1人) 家庭の事情(1人)
			令和2年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人) 家庭の事情(1人)
令和3年度	251 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		8 人		8 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{61} = \boxed{4.91} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{153} = \boxed{3.26} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{251} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
③ 展開科目	ジェロントロジー	3前	2								1
	社会福祉学	2前	2								1
	少子高齢社会と人口問題	3前	1								1
	高齢者心理	2後	2								1
	死生学	3後	2								1
	産業論	3前	2								1
	起業論	3後	2								1
	消費者行動分析学	3後	2								1
	IT社会論	3後	1								1
	情報危機管理論	3後	1				1				1
	災害・危機管理論	3前	2			1					1
	医療安全	3後	2								1
小計(12科目)	-	0	21	0	1	0	1	0	0	0	12
④ 総合科目	動物トータルケア総合演習1	2通	1				1	1			
	動物トータルケア総合演習2	3通	1			1		1			
	小計(2科目)	-	2	0	0	1	1	2	0	0	0
合計(68科目)	-	77	52	0	5	1	6	2	4	28	
卒業要件及び履修方法											
<p>・卒業要件</p> <p>1 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位修得すること。</p> <p>2 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」の5単位を修得すること。</p> <p>3 展開科目 選択科目15単位修得すること。</p> <p>4 総合科目 必修科目2単位修得すること。</p> <p>上記の要件を満たし本学に3年間以上在学し、必修科目77単位以上、選択科目30単位以上、計107単位以上を修得し、一般財団法人動物看護師統一認定機構が認定する認定動物看護師の受験資格を得ること。</p> <p>・履修制限</p> <p>1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
③ 展開科目	ジェロントロジー	3前	2								1
	社会福祉学	2前	2								1
	少子高齢社会と人口問題	3前	1								1
	高齢者心理	2後	2								1
	死生学	3後	2								1
	産業論	3前	2								1
	起業論	3後	2								1
	消費者行動分析学	3後	2								1
	IT社会論	3後	1								1
	情報危機管理論	3後	1					1			1
	災害・危機管理論	3前	2			1					1
	医療安全	3後	2								1
小計(12科目)	-	0	21	0	1	0	1	0	0	0	12
④ 総合科目	動物トータルケア総合演習1	2通	1				1	1			
	動物トータルケア総合演習2	3通	1			1		1			
	小計(2科目)	-	2	0	0	1	1	2	0	0	0
合計(68科目)	-	77	52	0	5	1	6	2	4	29	
卒業要件及び履修方法											
<p>・卒業要件</p> <p>1 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位修得すること。</p> <p>2 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」の5単位を修得すること。</p> <p>3 展開科目 選択科目15単位修得すること。</p> <p>4 総合科目 必修科目2単位修得すること。</p> <p>上記の要件を満たし本学に3年間以上在学し、必修科目77単位以上、選択科目30単位以上、計107単位以上を修得し、一般財団法人動物看護師統一認定機構が認定する認定動物看護師の受験資格を得ること。</p> <p>・履修制限</p> <p>1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
③ 展開科目	消費者行動分析学	3後	2								1
	IT社会論	3後	1								1
	情報危機管理論	3後	1				1				1
	災害・危機管理論	3前	2			1					1
	医療安全	3後	2								1
	小計(12科目)	-	0	21	0	1	0	1	0	0	12
④ 総合科目	動物トータルケア総合演習1	2通	1			1	1				
	動物トータルケア総合演習2	3通	1			1	1				
	小計(2科目)	-	2	0	0	1	1	2	0	0	0
	合計(68科目)	-	77	52	0	5	1	6	2	4	28
卒業要件及び履修方法											
<p>・卒業要件</p> <p>1 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位修得すること。</p> <p>2 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」の5単位を修得すること。</p> <p>3 展開科目 選択科目15単位修得すること。</p> <p>4 総合科目 必修科目2単位修得すること。</p> <p>上記の要件を満たし本学に3年間以上在学し、必修科目77単位以上、選択科目30単位以上、計107単位以上を修得し、一般財団法人動物看護師統一認定機構が認定する認定動物看護師の受験資格を得ること。</p> <p>・履修制限</p> <p>1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
③ 展開科目	消費者行動分析学	3後	2								1
	IT社会論	3後	1								1
	情報危機管理論	3後	1				1				1
	災害・危機管理論	3前	2			1					1
	医療安全	3後	2								1
	小計(12科目)	-	0	21	0	1	0	1	0	0	12
④ 総合科目	動物トータルケア総合演習1	2通	1			1	1				
	動物トータルケア総合演習2	3通	1			1	1				
	小計(2科目)	-	2	0	0	1	1	2	0	0	0
	合計(68科目)	-	77	52	0	5	1	6	2	4	28
卒業要件及び履修方法											
<p>・卒業要件</p> <p>1 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位修得すること。</p> <p>2 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」の5単位を修得すること。</p> <p>3 展開科目 選択科目15単位修得すること。</p> <p>4 総合科目 必修科目2単位修得すること。</p> <p>上記の要件を満たし本学に3年間以上在学し、必修科目77単位以上、選択科目30単位以上、計107単位以上を修得し、一般財団法人動物看護師統一認定機構が認定する認定動物看護師の受験資格を得ること。</p> <p>・履修制限</p> <p>1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・担当教員（兼任講師）の体調不良の理由により、2クラスで開講予定であった「心理学」（1年次前期開講選択科目）を1クラス59人開講に変更。

【令和2年度】

特になし。

【令和3年度】

・実際の臨床現場に勤務する獣医師を兼任講師として追加することにより、最新の技術を授業に取り入れ教育内容充実のを図るため、「動物臨床看護学（基礎・内科）実習」（1年次通年必修科目）の兼任・兼担の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
 ・担当教員（兼任講師）の海外研究活動の都合により、「野生動物学」（必修科目）の配当年次を「2年次後期」から「2年次前期」に変更。本学の教育カリキュラムの構成は、次の3科目について1年次に「伴侶動物学」、2年次に「野生動物学」、3年次に「産業・実験動物学」順に配置していることから、「野生動物学」が後期から前期に変更になっても、教育上体系的編成を崩すことにはならない。
 ・担当教員（兼任講師）の就任辞退及び教育内容充実のため、「産業・実験動物学」（3年次前期必修科目）の兼任・兼担の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	28 科目	0 科目	68 科目	40 科目 [0]	28 科目 [0]	0 科目 [0]	68 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	基礎、展開、職業専門、総合	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	動物実習短期留学	2	2・3通	職業専門	選択	新型コロナウイルス感染症拡大防止により渡航出来なくなったため。なお、当該科目は卒業要件に関わらない選択科目であり、履修を希望する2年次生へはオリエンテーションで次年度履修するよう案内した。同じく3年次生へは、卒業後科目等履修生として履修可能である旨案内した。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	基礎、展開、職業専門、総合	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 「動物実習短期留学」（2・3年次通年選択科目・2単位・実習）を履修した学生は、夏季休暇中にオーストラリアに渡航し宿舎にて共同生活を行いながらオーストラリア動物園における研修に参加し、動物QOLに配慮した動物飼育方法、多文化共生社会における動物展示のあり方、自然環境保護における動物園の役割などを幅広く学ぶことを予定していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み未開講とした。なお、当該科目は卒業要件に関わらない選択科目であり、履修を希望する2年次生へはオリエンテーションで次年度履修するよう案内した。同じく3年次生へは、卒業後科目等履修生として履修可能である旨案内した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{68} = \boxed{1.47} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	ヤマザキ動物専門学校（収容定員：80人、 面積基準：校舎等を保 有するに必要な面 積）と共用 図書館面積の登記面 積を実測値に変更。 これに伴う校地の按 分面積を変更したた め（2） 渋谷キャンパス2号館 B棟増築工事のため、 体育館等校舎敷 地（482.76㎡）及び 運動場用地（152.19 ㎡）を一時的に減算 し、その他に計上す る（3）		
	校 舎 敷 地	1,260.607㎡ 1,597-577㎡ 1,597-273㎡	0㎡	254.368㎡ 400-158㎡ 400-462㎡	1,514.975㎡ 1,997-735㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡ 152-19㎡	0㎡	0㎡	0㎡ 152-19㎡			
	小 計	1,260.607㎡ 1,749-767㎡ 1,749-463㎡	0㎡	254.368㎡ 400-158㎡ 400-462㎡	1,514.975㎡ 2,149-925㎡			
	そ の 他	489.16㎡ 0㎡	251.295㎡	145.79㎡ 0㎡	886.245㎡ 251-295㎡			
	合 計	1,749.767㎡ 1,749-463㎡	251.295㎡	400.158㎡ 400-462㎡	2,401.22㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	ヤマザキ動物専門学校（収容定員：80人、 面積基準：300㎡）と 共用 図書館の登記面積を 実測値に変更したた め（2） 渋谷キャンパス2号館 B棟増築工事のため、 倉庫等（44.5 ㎡）を一時的に減算			
	3,440.415㎡ 3,241-39㎡	685.785㎡ 730-285㎡ 929-12㎡	482.75㎡	4,608.95㎡ 4,653-45㎡ 4,653-25㎡				
	(2,769.09㎡)	(911.31㎡)	(786.62㎡)	(4,467.02㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	専門職短期大学全体		
	6室	0室	4室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専門職短期大学全体		
	動物トータルケア学科			5 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	専門職短期大学全体 図書：既設大学・専門 学校からの転用図書 の整理及び寄贈図書 増加のため（元） 学術雑誌：専門学校か らの転用及び新規定 期購読の追加のため （元） 電子ジャーナル：新規 契約の追加のため （元） 視聴覚資料：既設大学 からの転用数増加の ため（元） 機 械 ・ 器 具、標 本：動 作確認の結果減少 （元） 上記標本減少分につ いて、新規購入で補 充したため（2） 図書、学術雑誌、視 聴覚資料の増加分 については、経常費 で購入（2） 図書、学術雑誌、視 聴覚資料：資料の充 実のため経常費で購 入したため増加（3） 機 械 ・ 器 具：教育研 究の充実のため増 加。また、渋谷キャン パス2号館B棟の増 築に伴う機器・備品 の購入のため増加 （3）
	動物トータルケ ア学科	10,830 [649] 10,624 10,563 [554] 10,226 [649]	40 37 (5) 34 30 (3)	23 [16] 20 [13]	25 20 19 18	3,582 2,800 2,934	91 89 91	
		(10,783 [602]) (10,624) (10,563 [554]) (10,226 [649])	(40) (37 (5)) (34) (30 (3))	(23 [16]) (20 [13])	(25) (20) (19) (18)	(3,219) (2,800) (2,588) (2,662)	(91) (89) (91)	
	計	10,830 [649] 10,624 10,563 [554] 10,226 [649]	40 37 (5) 34 30 (3)	23 [16] 20 [13]	25 20 19 18	3,582 2,800 2,934	91 89 91	
	(10,783 [602]) (10,624) (10,563 [554]) (10,226 [649])	(40) (37 (5)) (34) (30 (3))	(23 [16]) (20 [13])	(25) (20) (19) (18)	(3,219) (2,800) (2,588) (2,662)	(91) (89) (91)		

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		ヤマザキ動物専門学校と共用 図書館の登記面積を 実測値に変更したため (2)		
	248.08㎡ 247.89㎡		40		16,750冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				ヤマザキ動物専門学校と共用		
	197.82㎡		-				-		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	専門職短期大学全体
		教員1人当り研究費等	230千円	230千円	図書購入費	3,401千円 5,140千円	1,395千円 1,455千円 0千円	0千円	図書：図書購入費を開設前年度と開設年度で分割したため また、寄贈図書が増加したため購入費総額を減少(元) 設備：工事費用の減少(元)
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	85,367千円 86,162千円	25,748千円 25,308千円	38,012千円 0千円	図書：電子ジャーナルについて同法人が設置する大学図書館においてすでに契約していたため大学の契約額が割引価格で可能となり減少(3) 設備：【開設年度】教育研究の充実のため増加【完成年度】渋谷キャンパス2号館B棟の増築に伴う機器・備品購入のため増加(3)
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,430千円	1,280千円	1,280千円	-千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入、資産運用収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		ヤマザキ動物看護大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
動物看護学部	4	180	-	720	-	1.16	1.21	-	平成22	-	東京都八王子市南大沢4-7-2 定員変更(△80)
動物看護学科	4	100	-	640	学士(動物看護学)	1.18	1.29	令和3	平成22		
動物人間関係学科	4	80	-	80	学士(動物看護学)	1.12	1.12	-	令和3	同上	
大学全体	-	180	-	720	-	-	-	-	-	-	
大学の名称		ヤマザキ動物看護大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
動物看護学研究科	2	5	-	5	-	1.00	1.00	-	令和3	-	東京都八王子市南大沢4-7-2
動物看護学専攻	2	5	-	5	修士(動物看護学)	1.00	1.00	-	令和3		
大学院全体	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合を含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<動物トータルケア学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	山北 宣久 (77) <平成31年4月> 神学修士	専	山北 宣久 (78) <平成31年4月> 神学修士	専	山北 宣久 (79) <平成31年4月> 神学修士	専	山北 宣久 (80) <平成31年4月> 神学修士
	生命倫理学		生命倫理学		生命倫理学		生命倫理学
専	藤村 響男 (60) <令和2年10月> 獣医学博士	専	藤村 響男 (60) <令和2年10月> 獣医学博士	専	藤村 響男 (61) <令和2年10月> 獣医学博士	専	藤村 響男 (62) <令和2年10月> 獣医学博士
	動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 臨地実習3 臨地実習5 動物トータルケア総合演習2		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 臨地実習3 臨地実習5 動物トータルケア総合演習2		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 臨地実習3 臨地実習5 動物トータルケア総合演習2		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 臨地実習3 臨地実習5 動物トータルケア総合演習2
兼任	藤村 響男 (60) <令和元年10月> 獣医学博士	兼任	藤村 響男 (60) <平成元年10月> 獣医学博士	兼任	藤村 響男 (61) <平成元年10月> 獣医学博士		
	動物病理学 動物薬理学 動物感染症学		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学		
専	本田 三緒子 (63) <平成31年4月> 修士(危機管理学)	専	本田 三緒子 (63) <平成31年4月> 修士(危機管理学)	専	本田 三緒子 (64) <平成31年4月> 修士(危機管理学)	専	本田 三緒子 (65) <平成31年4月> 修士(危機管理学)
	動物形態機能学 動物形態機能組織学 公衆衛生学 動物リハビリテーション論※ 臨地実習2 臨地実習3 臨地実習4 災害・危機管理論※		動物形態機能学 動物形態機能組織学 公衆衛生学 動物リハビリテーション論※ 臨地実習2 臨地実習3 臨地実習4 災害・危機管理論※		動物形態機能学 動物形態機能組織学 公衆衛生学 動物リハビリテーション論※ 臨地実習2 臨地実習3 臨地実習4 災害・危機管理論※		動物形態機能学 動物形態機能組織学 公衆衛生学 動物リハビリテーション論※ 臨地実習2 臨地実習3 臨地実習4 災害・危機管理論※
専	山川 伊津子 (59) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	専	山川 伊津子 (60) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	専	山川 伊津子 (61) <令和2年4月> 博士(学術)	専	山川 伊津子 (62) <令和2年4月> 博士(学術)
	動物看護ソーシャルワーク 動物人間関係学 臨地実習4 臨地実習5 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1		動物看護ソーシャルワーク 動物人間関係学 臨地実習4 臨地実習5 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1		動物看護ソーシャルワーク 動物人間関係学 臨地実習4 臨地実習5 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1		動物看護ソーシャルワーク 動物人間関係学 臨地実習4 臨地実習5 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1
専	加藤 剛 (44) <平成31年4月> 文学修士/ The Degree of Master of Science in Education Curriculum, Instruction and Technology in Education(米国)	専	加藤 剛 (45) <平成31年4月> 文学修士/ The Degree of Master of Science in Education Curriculum, Instruction and Technology in Education(米国)	専	加藤 剛 (46) <平成31年4月> 文学修士/ The Degree of Master of Science in Education Curriculum, Instruction and Technology in Education(米国)	専	加藤 剛 (47) <平成31年4月> 文学修士/ The Degree of Master of Science in Education Curriculum, Instruction and Technology in Education(米国)
	英語Ⅰ 英語Ⅱ 動物実習短期留学※		英語Ⅰ 英語Ⅱ 動物実習短期留学※		英語Ⅰ 英語Ⅱ 動物実習短期留学※		英語Ⅰ 英語Ⅱ 動物実習短期留学※
専	宮田 淳嗣 (33) <平成31年4月> 学士(動物看護学)	専	宮田 淳嗣 (33) <平成31年4月> 修士(獣医保健看護学)	専	宮田 淳嗣 (34) <平成31年4月> 修士(獣医保健看護学)	専	宮田 淳嗣 (35) <平成31年4月> 修士(獣医保健看護学)
	コンビニオンアニマルケア論※ 伴侶動物学※ コンビニオンアニマルケア実習 (基礎) コンビニオンアニマルケア実習 (応用)※ 臨地実習1 臨地実習3 臨地実習5		コンビニオンアニマルケア論※ 伴侶動物学※ コンビニオンアニマルケア実習 (基礎) コンビニオンアニマルケア実習 (応用)※ 臨地実習1 臨地実習3 臨地実習5		コンビニオンアニマルケア論※ 伴侶動物学※ コンビニオンアニマルケア実習 (基礎) コンビニオンアニマルケア実習 (応用)※ 臨地実習1 臨地実習3 臨地実習5		コンビニオンアニマルケア論※ 伴侶動物学※ コンビニオンアニマルケア実習 (基礎) コンビニオンアニマルケア実習 (応用)※ 臨地実習1 臨地実習3 臨地実習5
専	山村 拓也 (31) <平成31年4月> 修士(医科学)	専	山村 拓也 (32) <平成31年4月> 修士(医科学)	専	山村 拓也 (33) <平成31年4月> 修士(医科学)	専	山村 拓也 (34) <平成31年4月> 修士(医科学)
	動物形態機能学・組織学実習 動物臨床検査学実習 臨地実習3 臨地実習4 臨地実習6 研修・ボランティア活動		動物形態機能学・組織学実習 動物臨床検査学実習 臨地実習3 臨地実習4 臨地実習6 研修・ボランティア活動		動物形態機能学・組織学実習 動物臨床検査学実習 臨地実習3 臨地実習4 臨地実習6 研修・ボランティア活動		動物形態機能学・組織学実習 動物臨床検査学実習 臨地実習3 臨地実習4 臨地実習6 研修・ボランティア活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	講師	山本 央子 (60) <令和2年4月> 専修学校
		コンパニオンドッグトレーニング論 コンパニオンドッグトレーニング実習 臨地実習4 臨地実習6
実専	講師	井上 留美 (53) <平成31年4月> 各種学校
		動物臨床看護学(外科)実習 動物リハビリテーション論※ 臨地実習1 臨地実習2 臨地実習3 動物トータルケア総合演習2 研修・ボランティア活動
実専	講師	高柳 信子 (44) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物形態学・組織学実習 動物臨床看護学(外科)実習 動物臨床看護学(外科)実習 臨地実習1 臨地実習2
実(研)	教授 (専任)	花田 道子 (69) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物看護学概論 動物臨床看護学(基礎・内科) 動物臨床看護学(基礎・内科)実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	講師	荒木 幸子 (49) <平成31年4月> 学士(商学) / Associate in Applied Science(米国)
		キャリアマネジメント 動物トータルライフ演習※ 臨地実習2 臨地実習4 臨地実習5 動物実習短期留学※ 情報危機管理論※
実(研)	講師	藤原 恵利子 (39) <平成31年4月> 修士(医科学)
		動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 臨地実習1 臨地実習4 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1
実み	教授	谷川 力 (61) <令和2年4月> 博士(獣医学)
		動物生理・繁殖学※ 環境生物学 臨地実習6
兼任	講師	谷川 力 (61) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物生理・繁殖学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	講師	山本 央子 (60) <令和2年4月> 専修学校
		コンパニオンドッグトレーニング論 コンパニオンドッグトレーニング実習 臨地実習4 臨地実習6
実専	講師	井上 留美 (53) <平成31年4月> 各種学校
		動物臨床看護学(外科)実習 動物リハビリテーション論※ 臨地実習1 臨地実習2 臨地実習3 動物トータルケア総合演習2 研修・ボランティア活動
実専	講師	高柳 信子 (45) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物形態学・組織学実習 動物臨床看護学(外科)実習 動物臨床看護学(外科)実習 臨地実習1 臨地実習2
実(研)	教授 (専任)	花田 道子 (69) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物看護学概論 動物臨床看護学(基礎・内科) 動物臨床看護学(基礎・内科)実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	講師	荒木 幸子 (49) <平成31年4月> 学士(商学) / Associate in Applied Science(米国)
		キャリアマネジメント 動物トータルライフ演習※ 臨地実習2 臨地実習4 臨地実習5 動物実習短期留学※ 情報危機管理論※
実(研)	講師	藤原 恵利子 (39) <平成31年4月> 修士(医科学)
		動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 臨地実習1 臨地実習4 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1
実み	教授	谷川 力 (61) <令和2年4月> 博士(獣医学)
		動物生理・繁殖学※ 環境生物学 臨地実習6
兼任	講師	谷川 力 (61) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物生理・繁殖学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	講師	山本 央子 (61) <令和2年4月> 専修学校
		コンパニオンドッグトレーニング論 コンパニオンドッグトレーニング実習 臨地実習4 臨地実習6
実専	講師	井上 留美 (54) <平成31年4月> 各種学校
		動物臨床看護学(外科)実習 動物リハビリテーション論※ 臨地実習1 臨地実習2 臨地実習3 動物トータルケア総合演習2 研修・ボランティア活動
実専	講師	高柳 信子 (46) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物形態学・組織学実習 動物臨床看護学(外科)実習 動物臨床看護学(外科)実習 臨地実習1 臨地実習2
実(研)	教授 (専任)	花田 道子 (70) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物看護学概論 動物臨床看護学(基礎・内科) 動物臨床看護学(基礎・内科)実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	講師	荒木 幸子 (50) <平成31年4月> 学士(商学) / Associate in Applied Science(米国)
		キャリアマネジメント 動物トータルライフ演習※ 臨地実習2 臨地実習4 臨地実習5 動物実習短期留学※ 情報危機管理論※
実(研)	講師	藤原 恵利子 (40) <平成31年4月> 修士(医科学)
		動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 臨地実習1 臨地実習4 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1
実み	教授	谷川 力 (62) <令和2年4月> 博士(獣医学)
		動物生理・繁殖学※ 環境生物学 臨地実習6

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	講師	山本 央子 (62) <令和2年4月> 専修学校
		コンパニオンドッグトレーニング論 コンパニオンドッグトレーニング実習 臨地実習4 臨地実習6
実専	講師	井上 留美 (55) <平成31年4月> 学士(教養)
		動物臨床看護学(外科)実習 動物リハビリテーション論※ 臨地実習1 臨地実習2 臨地実習3 動物トータルケア総合演習2 研修・ボランティア活動
実専	講師	高柳 信子 (47) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物形態学・組織学実習 動物臨床看護学(外科)実習 動物臨床看護学(外科)実習 臨地実習1 臨地実習2
実(研)	教授 (専任)	花田 道子 (71) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		動物看護学概論 動物臨床看護学(基礎・内科) 動物臨床看護学(基礎・内科)実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	講師	荒木 幸子 (51) <平成31年4月> 学士(商学) / Associate in Applied Science(米国)
		キャリアマネジメント 動物トータルライフ演習※ 臨地実習2 臨地実習4 臨地実習5 動物実習短期留学※ 情報危機管理論※
実(研)	講師	藤原 恵利子 (41) <平成31年4月> 修士(医科学)
		動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 臨地実習1 臨地実習4 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1
実み	教授	谷川 力 (63) <令和2年4月> 博士(獣医学)
		動物生理・繁殖学※ 環境生物学 臨地実習6

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 美保子 (52) ＜平成31年4月＞ 準学士 コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ 情報危機管理論※
兼任	講師	藤巻 裕子 (64) ＜平成31年4月＞ 法学士 コミュニケーション論
兼任	講師	高野 八重子 (73) ＜平成31年4月＞ 高等学校卒 コンパニオンアニマルケア論※
兼任	講師	鈴木 友子 (46) ＜平成31年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物口腔ケア論 動物口腔ケア実習
兼任	講師	濱部 有羽子 (67) ＜令和2年4月＞ 獣医学士 訪問動物看護学
兼任	講師	天野 卓 (75) ＜令和2年10月＞ 農学博士 野生動物学
兼任	講師	菅野 多恵 (52) ＜令和3年10月＞ Applied Animal Behaviour and Animal Welfare (英国) 動物愛護・福祉と関連法規
兼任	講師	杉山(佐藤) 尚子 (60) ＜令和元年10月＞ 文学修士 動物行動学 消費者行動分析学
兼任	講師	早田 由貴子 (68) ＜平成31年4月＞ 獣医学士 伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア実習（応用）※
兼任	講師	小嶋 篤史 (45) ＜平成31年4月＞ 獣医学士 伴侶動物学※
兼任	講師	古川 力 (64) ＜令和2年4月＞ 農学博士 動物飼育管理論※ 産業・実験動物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 美保子 (52) ＜平成31年4月＞ 準学士 コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ 情報危機管理論※
兼任	講師	藤巻 裕子 (64) ＜平成31年4月＞ 法学士 コミュニケーション論
兼任	講師	高野 八重子 (73) ＜平成31年4月＞ 高等学校卒 コンパニオンアニマルケア論※
兼任	講師	鈴木 友子 (47) ＜平成31年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物口腔ケア論 動物口腔ケア実習
兼任	講師	濱部 有羽子 (67) ＜令和2年4月＞ 獣医学士 訪問動物看護学
兼任	講師	天野 卓 (76) ＜令和2年10月＞ 農学博士 野生動物学
兼任	講師	菅野 多恵 (52) ＜令和3年10月＞ Applied Animal Behaviour and Animal Welfare (英国) 動物愛護・福祉と関連法規
兼任	講師	杉山(佐藤) 尚子 (61) ＜令和元年10月＞ 文学修士 動物行動学 消費者行動分析学
兼任	講師	早田 由貴子 (69) ＜平成31年4月＞ 獣医学士 伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア実習（応用）※
兼任	講師	小嶋 篤史 (45) ＜平成31年4月＞ 獣医学士 伴侶動物学※
兼任	講師	古川 力 (65) ＜令和2年4月＞ 農学博士 動物飼育管理論※ 産業・実験動物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 美保子 (53) ＜平成31年4月＞ 準学士 コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ 情報危機管理論※
兼任	講師	藤巻 裕子 (65) ＜平成31年4月＞ 法学士 コミュニケーション論
兼任	講師	高野 八重子 (74) ＜平成31年4月＞ 高等学校卒 コンパニオンアニマルケア論※
兼任	講師	鈴木 友子 (48) ＜平成31年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物口腔ケア論 動物口腔ケア実習
兼任	講師	濱部 有羽子 (68) ＜令和2年4月＞ 獣医学士 訪問動物看護学
兼任	講師	天野 卓 (77) ＜令和2年10月＞ 農学博士 野生動物学
兼任	講師	菅野 多恵 (53) ＜令和3年10月＞ Applied Animal Behaviour and Animal Welfare (英国) 動物愛護・福祉と関連法規
兼任	講師	杉山(佐藤) 尚子 (62) ＜令和元年10月＞ 文学修士 動物行動学 消費者行動分析学
兼任	講師	早田 由貴子 (70) ＜平成31年4月＞ 獣医学士 伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア実習（応用）※
兼任	講師	小嶋 篤史 (46) ＜平成31年4月＞ 獣医学士 伴侶動物学※
兼任	講師	古川 力 (66) ＜令和2年4月＞ 農学博士 動物飼育管理論※ 産業・実験動物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 美保子 (54) ＜平成31年4月＞ 準学士 コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅰ コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ 情報危機管理論※
兼任	講師	高野 八重子 (75) ＜平成31年4月＞ 高等学校卒 コンパニオンアニマルケア論※
兼任	講師	鈴木 友子 (45) ＜平成31年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物口腔ケア論 動物口腔ケア実習
兼任	講師	菅野 多恵 (54) ＜令和3年10月＞ Applied Animal Behaviour and Animal Welfare (英国) 動物愛護・福祉と関連法規
兼任	講師	杉山(佐藤) 尚子 (63) ＜令和元年10月＞ 文学修士 動物行動学 消費者行動分析学
兼任	講師	早田 由貴子 (71) ＜平成31年4月＞ 獣医学士 伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア実習（応用）※
兼任	講師	小嶋 篤史 (47) ＜平成31年4月＞ 獣医学士 伴侶動物学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		堀井 隆行 (39) ＜令和2年4月＞ 修士(動物応用科学)
		動物飼育管理論※
兼任 講師		鈴木 友紀 (56) ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		奥山 健二 (75) ＜令和2年4月＞ 学術博士
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		宮下 めぐみ (45) ＜令和2年4月＞ 学士(獣医学)
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		長岡 恵 (89) ＜令和3年4月＞ 専修学校卒
		動物トータルライフ演習※
兼任 講師		五十嵐 靖博 (52) ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		ジェロントロジー
兼任 講師		大西 正行 (69) ＜令和3年10月＞ 経済学士
		少子高齢社会と人口問題
兼任 講師		轟 昭吉 (73) ＜令和3年4月＞ 経済学修士
		産業論
兼任 講師		竹田 昌弘 (58) ＜令和3年10月＞ 経営学修士
		IT社会論
兼任 講師		石渡 浩 (45) ＜令和3年10月＞ 修士(経済学)
		起業論
兼任 講師		福山 貴昭 (44) ＜令和3年4月＞ 修士(危機管理学)
		災害・危機管理論※
兼任 講師		斎藤 康介 (67) ＜令和2年10月＞ 短期大学士
		生活とアート

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		堀井 隆行 (39) ＜令和2年4月＞ 修士(動物応用科学)
		動物飼育管理論※
兼任 講師		鈴木 友紀 (57) ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		奥山 健二 (75) ＜令和2年4月＞ 学術博士
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		宮下 めぐみ (46) ＜令和2年4月＞ 学士(獣医学)
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		長岡 恵 (70) ＜令和3年4月＞ 専修学校卒
		動物トータルライフ演習※
兼任 講師		五十嵐 靖博 (52) ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		ジェロントロジー
兼任 講師		大西 正行 (69) ＜令和3年10月＞ 経済学士
		少子高齢社会と人口問題
兼任 講師		轟 昭吉 (73) ＜令和3年4月＞ 経済学修士
		産業論
兼任 講師		竹田 昌弘 (58) ＜令和3年10月＞ 経営学修士
		IT社会論
兼任 講師		石渡 浩 (46) ＜令和3年10月＞ 修士(経済学)
		起業論
兼任 講師		福山 貴昭 (45) ＜令和3年4月＞ 修士(危機管理学)
		災害・危機管理論※
兼任 講師		斎藤 康介 (67) ＜令和2年10月＞ 短期大学士
		生活とアート

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		堀井 隆行 (40) ＜令和2年4月＞ 修士(動物応用科学)
		動物飼育管理論※
兼任 講師		鈴木 友紀 (58) ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		奥山 健二 (76) ＜令和2年4月＞ 学術博士
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		宮下 めぐみ (47) ＜令和2年4月＞ 学士(獣医学)
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		長岡 恵 (71) ＜令和3年4月＞ 専修学校卒
		動物トータルライフ演習※
兼任 講師		五十嵐 靖博 (53) ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		ジェロントロジー
兼任 講師		大西 正行 (70) ＜令和3年10月＞ 経済学士
		少子高齢社会と人口問題
兼任 講師		竹田 昌弘 (59) ＜令和3年10月＞ 経営学修士
		IT社会論
兼任 講師		石渡 浩 (47) ＜令和3年10月＞ 修士(経済学)
		起業論
兼任 講師		福山 貴昭 (46) ＜令和3年4月＞ 修士(危機管理学)
		災害・危機管理論※
兼任 講師		斎藤 康介 (67) ＜令和2年10月＞ 短期大学士
		生活とアート

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		堀井 隆行 (41) ＜令和2年4月＞ 修士(動物応用科学)
		動物飼育管理論※
兼任 講師		鈴木 友紀 (59) ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		奥山 健二 (77) ＜令和2年4月＞ 学術博士
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		宮下 めぐみ (48) ＜令和2年4月＞ 学士(獣医学)
		動物トータルライフ環境論※
兼任 講師		長岡 恵 (72) ＜令和3年4月＞ 専修学校卒
		動物トータルライフ演習※
兼任 講師		五十嵐 靖博 (54) ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		ジェロントロジー
兼任 講師		竹田 昌弘 (60) ＜令和3年10月＞ 経営学修士
		IT社会論
兼任 講師		石渡 浩 (48) ＜令和3年10月＞ 修士(経済学)
		起業論
兼任 講師		福山 貴昭 (47) ＜令和3年4月＞ 修士(危機管理学)
		災害・危機管理論※
兼任 講師		斎藤 康介 (67) ＜令和2年10月＞ 短期大学士
		生活とアート

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	加藤 理絵 (46) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	加藤 理絵 (47) <平成31年4月> 博士(教育学)			
		心理学 高齢者心理			心理学 高齢者心理			
兼任	講師	新島 典子 (51) <令和元年10月> 修士(社会学)	兼任	講師	新島 典子 (51) <令和元年10月> 修士(社会学)			新島 典子 (53) <令和元年10月> 修士(社会学)
		社会学 死生学			社会学 死生学			社会学 死生学
兼任	講師	鎌田 壽彦 (73) <平成31年4月> 農学博士	兼任	講師	鎌田 壽彦 (74) <平成31年4月> 農学博士			鎌田 壽彦 (76) <平成31年4月> 農学博士
		動物生理・繁殖学※			動物生理・繁殖学※			動物生理・繁殖学※ 動物飼育管理論※ 産業・実験動物学※
兼任	講師	庄司 拓也 (49) <令和2年4月> 修士(史学)	兼任	講師	庄司 拓也 (49) <令和2年4月> 修士(史学)			庄司 拓也 (51) <令和2年4月> 修士(史学)
		社会福祉学			社会福祉学			社会福祉学
兼任	講師	今井 達男 (68) <令和3年10月> 薬学士	兼任	講師	今井 達男 (68) <令和3年10月> 薬学士			今井 達男 (70) <令和3年10月> 薬学士
		医療安全			医療安全			医療安全
						兼任	講師	越村 義雄 (72) <令和3年4月> 商学士
								産業論
						兼任	講師	長能 美香 (53) <令和2年10月> 修士(芸術)
								生活とアート
						兼任	講師	渡辺 紀子 (50) <令和2年4月> Master of Science(米国)
								心理学 高齢者心理
						兼任	講師	中村 晶 (53) <令和3年4月> 学士(教養)
								コミュニケーション論
						兼任	講師	花田 祥子 (38) <令和3年4月> 学士(獣医学)
								訪問動物看護学
						兼任	講師	梅村 隆志 (64) <令和3年4月> 獣医学博士
								産業・実験動物学※
						兼任	講師	山路 憲夫 (74) <令和3年10月> 経済学士
								少子高齢社会と人口問題

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

特になし。

【令和2年度】

- ・令和元年10月壘昭吉兼任講師死去のため、「産業論」の担当として令和3年4月から越村義雄兼任講師を採用。
- ・齋藤康介兼任講師就任辞退により、「生活とアート」の担当を長能美香兼任講師に変更。
- ・加藤理恵兼任講師辞任により、「心理学」「高齢者心理」の担当を渡辺紀子兼任講師に変更。

【令和3年度】

- ・藤巻裕子兼任講師辞任により、「コミュニケーション論」の担当を中村晶兼任講師に変更。
- ・濱部有羽子兼任講師辞任により、「訪問動物看護学」の担当を花田祥子兼任講師に変更。
- ・古川力兼任講師辞任により、「動物飼育管理論」「産業・実験動物学」の担当を鎌田壽彦兼任講師に変更。また、教育内容充実のため、「産業・実験動物学」に梅村隆志兼任講師を配置。
- ・大西正行兼任講師辞任により、「少子高齢社会と人口問題」の担当を山路憲夫兼任講師に変更。
- ・令和元年10月壘昭吉兼任講師死去のため、「産業論」の担当を越村義雄兼任講師に変更。
- ・渡辺紀子兼任講師辞任により、「心理学」「高齢者心理」の担当を齋藤ユリ兼任講師に変更。
- ・実際の臨床現場に勤務する獣医師を兼任講師として追加することにより、最新の技術を授業に取り入れ教育内容充実のを図るため、「動物臨床看護学（基礎・内科実習）」に山本真紀兼任講師を配置。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
13	4	6	3
名	名	名	名

(注) ・ 専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
5	1	6	2	14	4	5	1	6	2	14	5
(3)	(0)	(5)	(2)	(10)	(4)						
専任教員数(専)			専任教員数(実(研))			専任教員数(専)			専任教員数(実(研))		
7	3	4	7			3	4				
(5)	(2)	(3)				(5)	(2)	(3)			
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	1	6	2	14	5	5	1	6	2	14	5
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]
専任教員数(専)			専任教員数(実(研))			専任教員数(専)			専任教員数(実(研))		
7	3	4	7			3	4				
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
 なお、みなし専任教員(実み)がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{4} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{14} = 0\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>認可時</p> <p>(平成30年11月)</p>	<p>1. 設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を育成するという専門職短期大学の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>遵守事項</p>	<p>設置計画の通り履行している。</p> <p>本学では、設置計画を適正に履行し、更なる教育研究環境の充実のため、2号館に隣接する体育館（197.82㎡）を解体し、渋谷キャンパス2号館A棟に繋がる6階建の校舎B棟を自己資金において増築する工事を進めている。竣工は令和3年12月下旬を予定し、現在計画通りに工事が進んでいる。</p> <p>2号館B棟校舎内には、1階に体育館、ペイジングエリア、犬舎室、2階吹き抜け、3階に個人研究室8室、4階に個人研究室7室及び面談室1室、5階に多目的室2室、6階に多目的室1室を配置する。この増築により解体した体育館については、新たに198.13㎡の体育館を2号館B棟1階に配置する。2号館A棟6・7階の共同研究室1～5（研究室1～15）は、2号館B棟の3・4階に完全個室の個人研究室1～15（約17㎡）へ移設する。また、2号館A棟7階の予備室3は、2号館B棟5階の多目的室2へ移設する。なお、2号館B棟5階の多目的室2については、当面、自習室等としても活用する。</p> <p>教員の公的研究資金にて購入した安全キャビネット1台の寄付を受け、研究用実験室1に配置した。</p> <p>また、研究委員会及びFD・SD委員会を中心に、公的研究費獲得のための研修会（令和2年9月15日（火）「令和3年度科研費説明会及びコンプライアンス教育」、令和2年11月17日（火）「科学研究費申請に当たって」）を開催し、積極的な公的研究費申請等を促し、教育研究活動の充実と水準向上に取り組んでいる。</p>	<p>令和元年6月28日に「愛玩動物看護師法」が公布され、令和4年5月1日に法の全施行、令和5年3月頃に第1回国家試験が実施される予定であり、令和3年度より国家試験受験資格に沿ったカリキュラムの変更に向けて学外有識者を含む教育課程連携協議会の意見を聴き、教務委員会及び教授会にて検討を進める。また、現行カリキュラムの2年次生、1年次生においては、不足する科目・内容について補講等を実施し、国家試験の受験資格を満たすよう対応する。</p> <p>本学の動物トータルケア学科のカリキュラムは国家試験受験のための主務省設定科目が開講されている。愛玩動物看護師第1回目の国家試験は令和5年2月から3月に開催される。しかし、3年次生については、動物看護師統一認定試験（令和4年3月開催）の受験を経て、国家試験を受験するため、主務省が指定する講習会に参加することに加え、必要が生じた場合は令和4年度に補習教育を行う。</p> <p>本学では動物愛護の精神に則り、共生の思想と倫理観を備えて、人とコンパニオンアニマルの関係に求められる豊かな人間性と幅広い視野を養い、動物トータルケアに関わる基本的な理論・技術を身に付け、実践的・応用的能力を有することにより、訪問看護・在宅ケアのできる動物看護師を養成することに加え、動物看護の素養をもって、飼い主と産業界を繋ぐ人材の養成を目的としており、完成年度を迎え、就職委員会及び就職支援課を中心に就職セミナー、就職総決起集会、個別面談等を実施し1期生の就職活動の支援を重点的に行う。</p> <p>教員の積極的な公的研究費の獲得を促すため、研究委員会及びFD・SD委員会を中心に研修を行い、教育研究活動の一層の充実と水準向上を図る。</p>

<p>認可時</p> <p>(平成30年11月)</p>	<p>2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>定年規程の趣旨を踏まえた適正な取組に努めており、専門職短大が完成年度を迎える令和3年度までは教育の継続性及び安定的な教育環境の提供を優先すべく、同規定第2条を令和2年に本学園の教員の定年を70歳とし（令和2年4月1日施行）、さらに同規程の第4条において「教育・研究上必要と認める専任教員については、理事長が学長と協議の上、定年により退職した後、引き続き1年ごとに雇用を更新することができるものとする。」とする規定に基づき、専任教員としての雇用の継続契約を行った。</p> <p>さらに、学生の教育に支障をきたさないよう、教授会で協議のうえ、この定年規程に基づき後任として適切な人材を計画的に補充することとしている。</p> <p>具体的には完成年度の翌年度以降、80歳を迎えた学長が担当する科目については、速やかに後任の教員を配置する。また、70歳を超えた教授においても速やかに後任の教員を配置する。後任の人事については、教授会の意見を聴き、理事長を委員長とする中長期構想委員会にて学長が理事長と協議のうえ決定する。</p>	<p>履行中</p> <p>定年規程を踏まえた計画的な後任人事への移行がスムーズに遂行される教員組織の編成を目指した将来構想に基づき、専任教員の若返りを図るべく中長期構想委員会において検討するとともに、定年を超える専任教員の授業科目を担う後任人事については、適任者を現在公募中であり、若手の適任者を採用できるよう取り組んでおり、順調に進捗している。</p>
------------------------------	---	-------------	---	--

<p>認可時</p> <p>(平成30年11月)</p>	<p>3. 臨地実務実習において、実習評価表による実習評価を適切に行い、教育の質を確保すること。また、臨地実務実習の実習指導者の質を確保するために行うこととしている大学教員と指導者とのミーティングについては、学生の教育効果が向上するよう充実した内容にするとともに、事後の検証を毎年度行い内容の改善を図り、実習指導者の質の確保に取り組むこと。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>「臨地実習1」及び「臨地実習2」並びに「臨地実習3」について、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底した上で、実習先の理解と協力を得ながら実施し、実習評価表に基づき適正な評価を行った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に鑑み、実習指導者全員へ向けた説明会の開催は見送ったが、一部の臨地実務実習先の指導者は臨地実務実習委員会や教育課程連携協議会に出席を依頼し、大学教員と改善点等について意見交換を実施した。また、巡回の際は実習指導者と面会し、実習内容に関する意見や要望の聴取をした。そこでの意見等を臨地実務実習委員会へフィードバックし実習内容の改善を図り、学長へ報告している。</p> <p>令和2年10月開催の第1回教育課程連携協議会において「臨地実習1」及び「臨地実習2」並びに「臨地実習3」の事後検証を行い、事前教育内容が不足しているとの意見を受け、事前教育内容の充実等を図る等の改善点を次年度の教育内容に反映し、さらには実習指導者の質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>履行中</p> <p>令和3年度は動物病院で行う「臨地実習5」及び動物関連企業で行う「臨地実習6」が配当されている。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に鑑み中止した実習指導者説明会を実習前に開催し、実習内容、実習評価等の研修を行い、実習指導者の質向上を図る。</p> <p>また、「臨地実習1」「臨地実習2」「臨地実習3」「臨地実習4」「臨地実習5」「臨地実習6」の終了後、臨地実務実習委員会及び教育課程連携協議会において、事後検証を行い、そこで挙げられた意見等は臨地実務実習委員会へフィードバックし、さらに学長へ報告し次年度以降の教育内容へ反映し改善を図る。</p>
<p>認可時</p> <p>(平成30年11月)</p>	<p>4. 展開科目について、専任教員の配置の充実を検討しつつ、人材育成の目的とする職業分野において創造的な役割を果たすために必要な能力を育成するという展開科目の目的を踏まえ、更なる充実に努めること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>設置計画申請における展開科目の担当教員は、専任教員2人、兼任教員12人で計画通り開講する。</p> <p>令和2年度開講した科目は「社会福祉学」及び「高齢者心理」の2科目であり、令和3年3月開催の外部有識者を含む第2回教育課程連携協議会において「授業評価アンケート」結果及び「オンライン授業学年末アンケート」結果を示し、構成員から意見を聴取した上で教務委員会及び教授会で検討し、学長へ報告し展開科目の更なる充実に取り組んでいる。</p>	<p>履行中</p> <p>令和3年度より、展開科目の目的を踏まえつつ、教育課程連携協議会において関連する他分野に関わる構成員からの意見・情報等を聴取、学長へ報告するとともに、教務委員会及び教授会においてカリキュラムの編成等の見直しを検討する。</p> <p>具体的には各学年で「アッセンブリーアワー」を開講する。「アッセンブリーアワー」では自校教育やトビックス教育を実施する。自校教育においては、本学の建学の精神、教育理念を修得させ、また、トビックス教育においては、社会で活躍する専門家を招聘し動物看護分野にとらわれない最新の情報を教授する。</p> <p>さらに、クラスアドバイザー（専任教員）と学生のコミュニケーションのための時間を確保する。アッセンブリーアワーは専任教員が担当する。</p> <p>各科目名等は以下のとおりで検討中である。</p> <p>「アッセンブリーアワーⅠ」（1年次通年1単位） 「アッセンブリーアワーⅡ」（2年次通年1単位） 「アッセンブリーアワーⅢ」（3年次通年1単位）</p>

<p>認可時</p> <p>(平成30年11月)</p>	<p>5. 「コンピュータリテラシー（情報処理Ⅱ）」において学ぶこととしている人工知能等については技術の進歩が早いので、最新の技術の内容を学ぶことができるように、ファカルティ・ディベロップメントの充実を含め授業内容を充実させていくことが望ましい。 (助言事項)</p>	<p>改善事項</p>	<p>令和2年3月に開催を予定していた人工知能等に関するFD研修は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し開催を延期したが、感染予防対策を徹底したうえで令和2年11月27日（金）に「情報教育におけるAI及びAR」を開催し、最新の技術を学び、参加者同士の情報交換を行うことで授業内容の更なる充実を図った。</p> <p>人工知能に関するFD研修については、教員同士の情報共有と授業内容の更なる充実を図るための体制を整備した。</p>	<p>履行済</p>	
<p>設置計画履行状況調査時</p> <p>(令和元年)</p>	<p>該当なし</p>				
<p>設置計画履行状況調査時</p> <p>(令和2年)</p>	<p>該当なし</p>				

7 その他全般的事項

<動物トータルケア学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 授業方法に適した学生数の設定 原則として、講義は1クラス40人とする。</p>	<p>① 令和2年度は新型コロナウイルス感染症禍において、緊急事態宣言が発令され、講義及び実習はオンライン授業と対面授業を併用して行った。4月には、学校法人ヤマザキ学園の特別な学生支援制度を設立し、オンライン授業に必要なコンピュータの購入、マイク・カメラ等の備品の購入に加え、Zoom等オンライン授業に対応するシステムを導入した。コロナ禍の状況を踏まえ、キャンパス封鎖、分散登校、少人数制対面実習授業等を行うために、次の講義科目については、以下の人数で行った。</p> <p>「高齢者心理」(2年次後期選択科目) 通常2クラス開講のところ1クラス合同開講41名で行った。</p> <p>「動物看護ソーシャルワーク」(2年次後期必修科目) 通常2クラス開講のところ1クラス合同開講55名で行った。</p> <p>「動物臨床検査学」(1年次後期必修科目) 63名 通常3クラス開講のところ1クラス32名、2クラス合同63名で行った。</p> <p>「動物感染症学」(1年次後期必修科目) 62名 通常3クラス開講のところ1クラス32名、2クラス合同62名で行った。</p> <p>「動物病理学」(1年次後期必修科目) 62名 通常3クラス開講のところ1クラス32名、2クラス合同62名で行った。</p> <p>「動物形態機能組織学」(1年次後期必修科目) 62名 通常3クラス開講のところ1クラス32名、2クラス合同62名で行った。</p> <p>なお、41名から63名で講義科目を行うことにより、時間割を変更し、通常、1学年2クラスの実習授業を対面の実習授業3クラス(1クラス30人)に分けて分散授業を行った。対面の41名～63名の講義を行った教室は、可動式のパーテーションを開閉し、2クラス分の広さで密にならないよう行った。</p> <p>上記の6科目においては、小グループでのディスカッションを取り入れる等、対面授業を行うことによりオンライン授業と比較して教育効果の維持が期待できる科目である。</p> <p>40名以上で開講した場合、教育効果が低下しないよう授業前後に教員が教室に待機し、直接質疑応答ができるよう配慮した。また、メール等でも質疑応答を可能とした。</p> <p>さらに、授業毎にリアクションペーパーの提出や小テスト等を実施し、それに対して次回講義時に教員よりフィードバックや解説等を行うというインタラクティブに学習できる工夫を行った。</p> <p>令和3年度の講義及び実習については、令和2年度の体制を継承している。</p> <p>さらに、令和3年5月12日(水)からは始業時間を9時10分から9時30分へ変更、終業時間を4時20分から4時へ変更した。これにより、講義時間を80分、実習時間を160分に短縮し、通勤時間帯の混雑回避しコロナ禍対策を行っている。</p>

	<p>新型コロナウイルス感染症予防に配慮の上、専門職短期大学の特色を生かすべく、対面での講義・実習を可能な限り優先して実施することにより、教育の質を担保に努めた。</p> <p>また、実習授業については、2年次生は入学時より在学者56人を2クラスに分けて教育していたためコロナ禍の体制について問題はなかった。しかし、1年次在学者数95人については、3クラスに分けて実習を行った。実習授業の密を避けるため、授業開講数は通常時の1.5倍となった。なお、講義授業についても実習授業と同様に3クラスに分けて実施することも検討した。その場合、時間割に5時限（16：30～18：00）を設定しなければならないことになる。一方で、本学は渋谷区松濤に立地し、多くの学生が渋谷駅を利用するため新型コロナウイルス感染症予防の観点から渋谷駅及びその周辺の混雑する時間を避ける対策を講じ、講義時間に関しては時間割に鑑み1クラス概ね30人体制と概ね60人体制の2クラスで授業を行うことにした。1クラスは収容定員54人の講義室を使用し、2クラス目は収容定員108人の講義室を使用することで、学生が密な状態にならない対策を講じ講義授業を行った。</p> <p>今般のコロナ禍において、窮余の策として40人以上のクラス運営を余儀なくされたが、当該クラス運営を実施した結果、当該授業の習熟度を計る試験の成績は、いずれも前年度を上回った結果となり、加えて、グループワークの発表の際には、1クラス授業と比して、多様な意見が提出され、多面的な考察が深まったという教育効果が、副次的ではあるが、認められた。</p> <p>なお、本年（令和3年）12月にほぼ本学専用の渋谷キャンパス2号館B棟の増築が竣工した際には、80人クラスとして認可いただいている授業を除く、全ての授業について1クラス40人以下授業となることを、申し添える。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、次のような対応を行った。</p> <p>〈令和2年度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の入学式は中止し、オリエンテーションについては、オンライン形式で開催した。なお、オリエンテーションの内容（理事長・学長挨拶、履修登録方法、学生生活の諸注意、オンライン授業受講の際の情報倫理（モラル）について、図書館について等）については、学生からメールや電話等で質問を受け付けるなど、丁寧な対応を行った。 ・前期授業期間については、4月4日（土）開始を5月11日（月）開始に延期した。授業開始までの期間は自宅学習期間とし、学生に前期初回3回分の授業について各科目の課題を課し、各科目担当責任者が課題作成に向けサポートを行った。また、クラスアドバイザー（クラス担任）制度を活用し、授業開始延期後は、一人ひとり電話及びメール等で心身の健康状態や相談などを受け付ける対応を行った。 ・令和2年4月27日（月）の教授会にて、新型コロナウイルス感染症感染の感染拡大により、本来予定していた面接授業の実施が十分な感染対策を講じたとしても困難であるためオンライン授業を実施すると判断し、講義科目及び実習科目の一部をオンライン授業で実施し、1学年2クラス合同で開講した。その際、以下の点について留意した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 科目担当教員は、オンライン上での出席管理、e-learningシステム（Moodle）やMicrosoft forms等を利用した確認テスト、リアクションペーパー等の提出により授業の実施状況及び学生の授業理解度を把握した。 (2) 授業理解度や教育効果に支障が出ないよう、授業資料はオンライン配布ではなく、当該授業開始前までに個別に印刷物を郵送等して配布した。 (3) オンライン授業の教育効果を高めるため、また学生個々の自宅での学習環境等の状況に応じるため、オンライン授業で開講した科目は、一定期間オンデマンドにて録画を視聴できるように配慮した。 (4) 授業内容、授業計画等が学生1人1人へ確実に伝わるよう、e-learningシステム（Moodle）およびoutlookメールを利用し、学生からの質問・相談に速やかに応じる体制を整えた。 (5) 大学として、オンライン授業実施科目の把握、開講状況の把握、補講措置の把握等に努めた。
<p>② 令和2年度・3年度学事日程及びオンライン授業</p>	<p>② 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、次のような対応を行った。</p>

<p>③ 校舎等設備の整備計画 教育研究環境の整備</p>	<p>・5月11日(月)からの授業においては、時間割に沿ってオンライン授業を実施した。実施にあたり、本学園教職員による「オンライン教育開発プロジェクト」が設置され、4月24日(金)及び5月1日(金)に「遠隔授業に関するオンラインセミナー-導入編-」を開催、専任教職員及び非常勤講師が参加し、Web利用遠隔授業の実際、本年度における著作権に関する特例について、eラーニングのMoodleの紹介およびオンライン会議システムZoom利用方法や利用上の注意等についての研修を行った。</p> <p>・6月1日(月)より感染防止対策を講じた上で実習・演習科目のみ対面授業を開始し、講義科目については引き続きオンライン授業を実施した。</p> <p>・定期試験は感染防止に鑑み学事日程を変更し実施を見送り、授業内で課したレポートや小テスト等で総合的に評価をした。</p> <p>・後期より、対面授業の重要性と教育効果、学生の学修機会の確保に鑑み、講義科目は対面授業を増やしつつ一部オンライン授業も並行して実施することにより感染拡大防止対策を講じた。</p> <p>・令和2年12月頃からの感染拡大状況に鑑み、12月21日(月)より対面授業は中止しオンライン授業のみ実施、2月1日(月)より対面補講を実施し、学修機会の確保に努めた。</p> <p>・令和2年度後期終了後、オンライン授業学年末アンケートを実施した結果、科目の特性によってはオンライン授業においても教育効果に差異は見られなかった。反面、実習・演習科目においては対面授業を希望する学生からの記述等が多数見られ、対面授業の必要性が確認され、次年度の改善点として令和3年3月17日(水)の教授会で報告がなされた。</p> <p><令和3年度></p> <p>・令和3年度の入学式は4月7日(水)に実施し、感染防止対策を講じ、会場には入学生及び対応する教職員のみ入室可能とし、保護者(代表者1名のみ)は別室にて中継視聴とした。</p> <p>・4月25日(日)からの緊急事態宣言に伴い、4月27日(火)から5月12日(水)までは科目の特性に応じてオンライン授業または対面授業で開講した。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえた政府の対応に鑑み、対面授業の重要性と教育効果の向上を踏まえつつ、学生の学修機会の確保のため十分な感染防止対策を講じたうえで、対面授業を中心にオンライン授業を併用して年間授業計画を実施できる体制を整えている。</p> <p>③ 教育研究環境のさらなる充実のため、研究室、面談室等の整備計画を以下の通り変更する。</p> <p>1. 設置計画変更の概要</p> <p>本学は、平成31年4月1日に開学し、開学以降、現在に至るまで設置計画に則り、教育研究活動に邁進してきた。本学では、設置計画を適正に履行し、更なる教育研究環境の充実のため、渋谷キャンパス2号館A棟に繋がるB棟を自己資金において増築する工事を進めている(資料1-1、資料1-2、資料2)。</p> <p>この工事では、現在、2号館に隣接する体育館(197.82㎡)を解体し、6階建の校舎、2号館B棟を増築している。2号館B棟校舎内には、1階に体育館、ベイジングエリア、犬舎室、2階吹き抜け、3階に個人研究室8室、4階に個人研究室7室及び面談室1室、5階に多目的室2室、6階に多目的室1室を配置する。</p> <p>この増築により解体した体育館については、新たに198.13㎡の体育館を2号館B棟1階に配置する。2号館A棟6・7階の共同研究室1～5(研究室1～15)は、2号館B棟の3・4階に完全個室の個人研究室1～15(約17㎡)へ移設する。また、2号館A棟7階の予備室3は、2号館B棟5階の多目的室2へ移設する。なお、2号館B棟5階の多目的室2については、当面、自習室等としても活用する。</p> <p>なお、この度の増築工事の工期について、昨年提出時の工期計画(令和2年11月～令和3年11月)は建築契約(令和2年11月)以前の予定であり、実際の契約において工期は令和2年11月～令和3年12月となった。(資料1-2)。変更については、「建築等計画変更書」においても記載する。</p> <p>参考：設置認可申請書添付の完成年次の教室一覧表(資料3)</p>
-----------------------------------	--

	<p>2. 設置計画変更の必要性</p> <p>本学開学時に本学2号館A棟に隣接していた体育館は、平成18年に建築した平屋の建物で、令和元年10月の台風19号の被害を受けたため、簡易な補修を施した状況であった。このため、「コンパニオンドッグトレーニング実習」（2年次通年、必修3単位）の授業にも支障をきたす恐れがあり、早急に解決する必要が生じた。</p> <p>また、2号館A棟6・7階に配置されている共同研究室1～5（研究室1～15）は、1つの共同研究室内に3個人研究室が配置されており、各個人研究室をパーティションで間仕切りしているため、隣の研究室の教員や学生の会話が聞こえる状況であった。このため、学生相談のために別途個人面談室を用意していたが、教員の研究室を訪問することが多い状況であった。研究室の静寂性とプライバシーを保つことが困難な状況であったため、完全個室の個人研究室の確保が急務と判断した。</p> <p>そのため、2号館A棟6・7階の共同研究室1～5（研究室1～15）は、2号館B棟3・4階に完全個室の個人研究室1～15として移設する。個人研究室の更なる整備は、教員の教育研究環境及び学生指導の向上に繋がると期待されている。</p> <p>以上のことから、体育館、個人研究室15室、多目的室を含む2号館B棟を増築することを計画し、現在、増築工事を行っている。</p> <p>3. 建設期間における実習授業等への対応</p> <p>2号館B棟を建設する約1年間（工期：令和2年11月～令和3年12月）は、体育館を使用できないが、代替措置として1号館5階の351・352教室を1つの講義室兼実習室として「コンパニオンドッグトレーニング実習」（180分30回）を行っている。なお、この2教室を「コンパニオンドッグトレーニング実習」の授業に使用しても、他の教室で十分に授業運営を行うことができることを時間割で示す（資料4）。</p> <p>また、体育館は、「コンパニオンドッグトレーニング実習」の授業以外にも学生の運動・レクリエーション施設としての役割がある。令和3年5月現在、学生の運動系サークルは、ダンスサークル及びアウトドアサークルがあるが、新型コロナウイルス感染症感染の感染拡大によりサークル活動の自粛を求めており、対面での活動実績はほぼ無い状況で支障はきたしていない。工事期間中に新型コロナウイルス感染症が終息、サークル活動が再開できる環境になり学生から体育館を使用したい旨の要望があった場合は、学外施設を借用するなど学生の運動・レクリエーション活動をサポートする。</p>
--	---

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、教員の資質の維持向上の方策のために、FD・SD委員会を設置し活動している。以下のとおり、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学FD・SD委員会規程」（令和元年5月23日（木）理事会承認）をもとに、説明する。</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、ヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）学則第4条の規定に基づき、全教職員が教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を定期的に設け、併せて両者の連携体制の確保を図るため、FD (Faculty Development) ・SD (Staff Development) 委員会（以下「FD・SD委員会」という。）の運営に関する必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>2 必要に応じて小委員会を置くことができる。</p> <p>(構成)</p> <p>第2条 委員会は、次の委員をもって構成する。</p> <p>(1) 学科長 (2) 教務部長 (3) 事務局長 (4) 法人本部総務部長 (5) 専任教職員の中から学長が指名した者</p>

(任期)

第3条 前条第1項第1号及至第4号の委員の任期は、その在任期間中とする。

- 2 前条第1項第5号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 3 委員に欠員が生じた場合、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は学科長とする。
- 3 副委員長は、委員の互選により決する。
- 4 委員長は、委員会を招集し、議長となる。
- 5 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度におけるFD・SD委員会は、①学科長、②教務部長、③事務局長、④法人本部総務部長、⑤専任教職員の中から学長が指名した者から構成されている。委員長は学科長とし、議長となる。令和2年度は計6人（教員4人（助手2人含む）、職員2人）の教職員が委員であった。このような構成員により、委員会は以下のとおり実施した。

- | | | | |
|-----|--------------|----------------|------|
| 第1回 | 令和2年5月22日（金） | 参加状況：教員4人、職員2人 | 合計6人 |
| 第2回 | 令和2年7月14日（火） | 参加状況：教員3人、職員1人 | 合計4人 |
| 第3回 | 令和3年3月3日（水） | 参加状況：教員4人、職員2人 | 合計6人 |

なお、現在（令和3年5月）は、計8人（教員6人（助手1人を含む）、職員2人）の教職員が委員となっている。

c 委員会の審議事項等

(審議事項)

第7条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 教育に関する情報及び資料の収集、分析並びに改善策の立案に関する事項
- (2) カリキュラムの点検、評価及び改善策の立案に関する事項
- (3) 授業方法の改善に係る研修に関する事項
- (4) ファカルティディベロプメントに対する支援に関する事項
- (5) 事務職員の職責向上の遂行及び質的向上の推進に関する事項
- (6) 教職員の研修等に関する事項
- (7) 教職員の連携及び教育環境の整備に関する事項
- (8) その他学長が諮問した事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教育研究にかかわる研修
- ・ 授業評価アンケート
- ・ FD・SD関連の情報収集と周知
- ・ 教職員の研究会、研修会への派遣
- ・ FD・SDに関する研修

b 実施方法

- ・ 教育研究にかかわる研修
担当授業を開始する前に、各教員が、大学・学科の教育上の目的や養成する人材像について共通の認識を持つことができるようにするため、委員長は、教員に対して研修の機会を設ける。
- ・ 授業評価アンケート
学期の最終授業時に各科目の授業評価アンケートを行い、授業の改善資料とする。このアンケート結果は自己点検・評価の際にも活用する。
- ・ FD・SD関連の情報収集と周知
他大学並びに諸団体におけるFD・SD関連の成果・資料等の情報を収集し、これらを教職員に周知する。
- ・ 教職員の研究会、研修会への派遣
他大学並びに諸団体が開催するFD・SD関連の研究会、研修会等に積極的に教職員を派遣する。
- ・ FD・SDに関する研修
全教職員がFD・SD活動の必要性和重要性を共通に認識するために、学内において、FD・SDに関する講習会等を定期的に開催する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・FD・SD委員会が主体となり、令和2年度は以下の研修を行った。

- 令和2年8月6日（木）「若者にはびこる危険ドラッグ（薬物）について」
講師：東京薬科大学薬学部一般用医薬品学教室 教授 陳惠一
（教職員対象・ハイブリット式）
- 令和2年8月18日（火）「令和2年度 第10回大学コンソーシアム八王子FD・SDフォーラム
高大接続改革2.0に向けて—高等学校と大学の相互理解で教育のアップデートを—」
基調講演 大学入学者選抜改革の現状と令和3年度大学入学者選抜について
話題提供 コロナ禍における大学入試とこれから～新しい信頼関係の構築～
事例報告 中等教育から大学教育における「情報教育」のあり方について考える
～社会へと繋がる主体的・対話的な学びを通して～
主催：大学コンソーシアム八王子
共催：八王子市 後援：文部科学省（教職員対象・ハイブリット式）
- 令和2年8月26日（水）「ハラスメント問題の最新動向～2020年6月施行パワハラ防止法を踏まえて～」
講師：東京ゆまにて法律事務所 弁護士 横田由紀子（教職員対象・ハイブリット式）
- 令和2年9月9日（水）「本学園の現状報告と中長期計画について」
講師：理事長 山崎薫（職員対象・ハイブリット式）
- 令和2年9月15日（火）「令和3年度科研費説明会及びコンプライアンス教育」
講師：文部科学省研究振興局 学術研究助成課課長補佐 大鷲正和
（教職員対象・ハイブリット式）
- 令和2年10月13日（火）「専門職大学が大学の未来を変える ～人材育成の狙い～」
主催：専門職大学コンソーシアム（教職員対象・オンライン式）
- 令和2年11月17日（火）「科学研究費申請に当たって」
講師：ヤマザキ動物看護大学 動物看護学部 教授 富田幸子
（教員対象・オンライン式）
- 令和2年11月27日（金）「情報教育におけるAI及びAR」
講師：ヤマザキ動物看護大学 動物看護学部 教授 若林義啓（教員対象）
- 令和3年1月8日（金）「本学園の中長期計画及び新型コロナウイルス感染症対策について」
講師：理事長 山崎薫（職員対象・オンライン式）
- 令和3年3月9日（火）「令和3年度からの新体制について」講師：理事長 山崎薫（職員対象・オンライン式）
- 令和3年3月11日（木）・12日（金）
「ロイヤルカナン 動物病院専売製品であるDライン（新しいラインナップ製品）
について」
「各疾患とその栄養管理、製品の使い分けについて」
講師：ロイヤルカナンジャパン ペテリナリー事業部 獣医師 鈴木久志
（教員対象・対面式）
- 令和3年3月17日（水）「オンライン授業におけるシステム活用研修」
講師：ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科 講師 加藤剛
（教員対象・対面式）
- 令和3年3月29日（月）「IRの基礎と活用」
講師：大正大学エンロール・マネジメント研究所 所長
IR/EMセンター センター長 地域創生学部 教授 福島 真司 先生
（教職員対象・ハイブリット式）

教職員対象セミナーにおいては、各回140人程度（併設校からの参加者含む）の参加があり、教員対象セミナーでは各回10～15人の参加があった。また、職員対象セミナーでは各回50人程度（併設校からの参加者含む）の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・授業評価アンケートの集計結果を踏まえ、各科目担当責任者が「2020年度授業改善等に関する報告書」を提出し、次年度の授業改善に反映している。

・非常勤講師においては、例年は、一同を介した対面式教職員会議を開催し、授業運営上の様々な課題が報告され、その対策について協議し、これらの内容を共有し確認することで、授業運営方法の統一化を図っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染予防のため教職員会議はオンラインにて実施した。実施後には、メールや電話等で各教員からの改善意見等を受け、その都度事務局において検討し改善を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・授業評価アンケートは、eラーニングシステム (Moodle) を使用してオンライン上で行った。前期開講科目 (通年科目の前期実施分を含む) は令和2年8月3日 (月) ~9月6日 (日)、後期開講科目 (通年科目の後期実施分を含む) は令和3年1月15日 (金) ~2月19日 (金) を回答期間とした。ただし、「環境生物学」(1単位・全8回) は令和2年11月24日 (火)、「野生生物学」(1単位・全8回) は令和2年11月17日 (火)、「臨地実習2」(臨地実務実習事前授業に関するアンケート) は令和2年11月21日 (土)、「臨地実習3」(臨地実務実習及び事後授業に関するアンケート) は令和2年10月27日 (火) に実施した。

・令和2年度後期終了後、オンラインで開講した授業に関するアンケートをMicrosoft Formsで実施した。回答期間は令和3年2月18日 (木) ~2月26日 (金) とした。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学長、学科長、FD・SD委員長には、全科目の授業評価アンケート結果を書面で公開した。

・科目担当教員には、全ての担当科目の授業評価アンケート結果を配付した。

・学生には、全科目の授業評価アンケート結果を綴ったファイルを図書館に設置することで自由に閲覧できる形で公開した。

・オンライン授業に関するアンケートは令和3年3月17日 (水) の教授会で報告がなされた。

・授業評価アンケートの集計結果を踏まえ、各科目担当責任者が「2020年度授業改善等に関する報告書」を提出し、次年度の授業改善に反映している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

「ヤマザキ動物看護専門職短期大学教育課程連携協議会規程」をもとに、以下のとおり説明する。

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

(趣旨)

第1条 この規程は、ヤマザキ動物看護専門職短期大学学則第5条第2項に定めるヤマザキ動物看護専門職短期大学教育課程連携協議会 (以下「協議会」という。) について、必要な事項を定めるものとする。

(協議会の構成員)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

(1) ヤマザキ動物看護専門職短期大学長 (以下「学長」という。) が指名するヤマザキ動物看護専門職短期大学 (以下「本学」という。) の教員その他の職員

(2) 動物看護師、グルーミングサロン、ペットショップ又はその他の動物関連産業に係る職業に就いている者又はこれらの職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動する関係者であって当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者

(3) 地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者

(4) 臨地実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者

(5) 本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者

令和3年5月1日現在の委員名簿を資料5に示す。

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

第6条 協議会の開催は、過半数の構成員の出席を必要とする。

2 議長が必要と認める場合、構成員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

令和2年度は令和2年10月23日 (金)、令和3年3月26日 (金) に対面式とオンライン式のハイブリットで開催した。

令和2年度第1回教育課程連携協議会 (10月23日 (金))

出席構成員：花田道子、兵藤哲夫、天野芳二、池本卯典、齋藤和夫、藤田秀一、小宮万里子、島津裕美

齋田弘幸 (オンライン)

令和2年度第2回教育課程連携協議会 (3月26日 (金))

出席構成員：花田道子、天野芳二、島津裕美、兵藤哲夫、齋藤和夫 (代理 熊澤雄一郎)、

齋田弘幸 (一部代理 田村毅) (オンライン)

c 委員会の審議事項等

第5条 協議会は、次の各号に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

- (1) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- (2) 産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

令和2年度第1回教育課程連携協議会（10月23日（金））

1 令和2年度前期授業実施状況について

事務局より、令和2年度前期は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に鑑み、オンライン授業と対面授業を並行して実施した旨報告がなされた。続いて前期授業評価アンケート結果とGPA分布値についての説明があった。説明を受け審議し、新型コロナウイルス感染症禍において本学では初めてのオンライン授業に取り組んだ結果、オンライン授業のメリット・デメリットが明らかとなったが、学内クラスターの発生無く前期授業は概ねよく実施したと評価を受けた。

2 臨地実務実習の事前・事後教育内容の改善について

「臨地実習1」及び「臨地実習2」の担当教員より、臨地実務実習の事前・事後教育内容について説明があり、改善点を今後の授業に反映することとし、実施状況については概ね良好であるとの評価を受けた。

令和2年度第2回教育課程連携協議会（3月26日（金））

1 令和2年度後期授業実施状況について

事務局より令和2年度後期授業においては、前期同様に対面授業と一部オンライン授業で実施し、授業評価アンケート結果（オンライン授業アンケート含む）とGPA分布値についての説明があり前期実施状況を踏まえ、緊急対応、感染防止対策に配慮しながら概ね問題無く実施したと評価を受けた。

2 臨地実務実習の事前・事後教育内容の改善について

「臨地実習3」の担当教員より、臨地実務実習の実施状況、事前・事後教育内容について説明があり、改善点を今後の授業に反映することとし、実施状況については概ね良好であるとの評価を受けた。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

教育課程連携協議会において審議された内容を教授会及び臨地実務実習委員会において報告し、臨地実務実習のさらなる内容充実を図る。特に2度目の開講を迎えた「臨地実習1」及び「臨地実習2」においては、前年度の改善点を活かし、実習生の配置、見学実習や実習内容の改善、実習指導者と教員との連携などが図られた。また、「臨地実習3」における実習期間中の休曜日設定の見直し等については、令和3年度に改善を図り、新たに開講する「臨地実習4」「臨地実習5」「臨地実習6」においても配慮することとした。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

令和2年度第1回（10月23日（金））教育課程連携協議会において、事前教育の内容が不足しているとの意見を踏まえ、その聴取した意見を臨地実務実習委員会及び教務委員会にて検討の上、教授会の意見を聴いて学長が教育課程に反映させた。

令和2年度第2回（3月26日（金））教育課程連携協議会において引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を講じるべきとの意見を踏まえ、令和3年度開催の臨地実務実習委員会及び教務委員会にて検討の上、教授会の意見を聴いて学長が教育課程へ反映させる。

さらに、教育課程への反映状況を次回の教育課程連携協議会に報告するというPDCAのサイクルを構築している。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、建学の精神及び教育理念に基づき、動物愛護の精神に則り、動物愛護学の教育と研究を行い、動物関連産業界の未来を担う人材養成に取り組んでいる。

開学2年目となる令和2年度においては、設置計画の確実な履行に向けた人材養成に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの教育現場では混乱を来したが、本学では動物看護学の教育の一環として徹底した感染予防対策を取りつつ先端技術を活用したオンライン授業等を取り入れ、概ね設置計画に沿った目的を達成できたと考えている。

定員充足については、開学初年度の令和元年度こそ学生募集の開始が遅れたことにより入学定員が未充足となったが、令和2年度及び令和3年度は確実に志願者を増やし、入学定員を充足している。

教員組織の将来構想に基づく編成にあたっては、専任教員の若返りを図るべく中長期構想委員会において検討するとともに、定年を超える専任教員の授業科目を担う後任人事については、適任者を現在公募中であり、若手の適任者を採用できるよう取り組んでおり、順調に進捗している。

今後も、本学科の教育目的及び目標を達成するために、学長のリーダーシップの下、全学的に教育・研究を推進し、経営面では法人本部との連携を図りながら、全教職員が教学の使命・目的を十分に理解し更なる教育研究の向上に取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年8月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係各位へ各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（令和3年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和4年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けることとしている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

【設置計画履行状況報告書・補足説明資料(専門職大学等)】

(共通留意事項)

○「認可(設置)時の計画」には認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」に記載した計画を記入ください。

○認可申請書に記載がなければ「記載なし」と記入ください。

○「履行状況」には報告時点で取り組んでいる事項(準備状況含む)を記入ください。

その際、「認可(設置)時の計画」から変更している場合は、変更した理由を具体的に記入ください。

① 入学者選抜

認可(設置)時の計画	履行状況
<p>・多様に配慮した選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 本学では、アドミッションポリシーに基づき、以下の入学者選抜を実施する。</p> <p>1 一般入学試験 必要な基礎学力を判定するため独自の学力検査の結果及び出願書類の内容を総合的に判定して行う。 定員枠は10名とし、理科(生物基礎または化学基礎から選択)及び英語(リスニング除く)の2科目を試験科目とする。</p> <p>2 AO入学試験 専門職短期大学の教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、本学独自に実施する面接試験の成績、資格・検定試験等の成績、各種大会等の活動や顕彰の記録その他の資料を活用するとともに、高等学校の教科の評定平均値、特に選択科目で履修している生物基礎・化学基礎の評定平均値を重要視して合否判定に用いて入学者選抜を実施する。 定員枠は50人とし自己推薦文(各種資格、各種検定試験の成績、弁論大会やボランティア活動、在学中の学校内での活動、動物飼育体験の実績等)、小論文、面接、評定平均値の内容を総合的に判定する。</p> <p>3 指定校推薦 本学が指定する高等学校の現役生で、高等学校での調査書の評定平均値が3.2以上であり、本学への入学を専願とし、試験合格後は必ず入学することを確約できる者であり、高等学校長が責任をもって推薦できる者を対象とする。 定員枠は15人とし、小論文、面接、出願書類を総合的に判定する。</p> <p>4 公募推薦 高等学校の現役生及び高等学校卒業後1年以内の者で、高等学校での調査書の評定平均値が3.0以上であり、本学への入学を専願とし、試験合格後は必ず入学することを確約できる者であり、高等学校長の推薦を受けた者を対象とする。 定員枠は5人とし、小論文、面接、出願書類を総合的に判定する。</p> <p>また、入学前教育としてAO入試及び推薦入試の合格者を対象に、思考力や表現力を問うために、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、感想文を提出させる。提出された感想文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックする。</p>	<p>※入学者選抜において実際に各項目に該当する選抜を実施していればの結果と受験者や合格者の内訳を差支えない範囲で記入ください。</p> <p>1 一般入学試験 一般選抜試験 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について(通知)(平成30年10月22日)」に基づき、入学試験の名称を変更した。 試験内容等については、「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施方法は設置計画とおりである。実施回数、受験者、合格者、入学者は資料6のとおりである。 一般選抜試験では、募集定員10名、受験者49名のところ、入学辞退者の見込みおよび一般選抜試験実施前までの入学手続の状況から、合格判定基準を満たした8名を合格とした。結果的には3名が辞退し、5名が入学した。</p> <p>2 AO入学試験 総合型選抜試験 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について(通知)(平成30年10月22日)」に基づき、入学試験の名称を変更した。 試験内容等については、「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施方法は設置計画とおりである。実施回数、受験者、合格者、入学者は資料6のとおりである。 総合型選抜試験では、募集定員50名に対し、入学辞退を見込み60名を合格とした。結果的には4名が辞退し、56名が入学した。</p> <p>3 指定校推薦 学校推薦型選抜試験(指定校制) 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について(通知)(平成30年10月22日)」に基づき、入学試験の名称を変更した。 試験内容等については、「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施方法は設置計画とおりである。実施回数、受験者、合格者、入学者は資料6のとおりである。 学校推薦型選抜試験(指定校制)では、募集定員15名、受験者50名のところ、合格基準を満たした37名を合格とし、37名が入学した。</p> <p>4 公募推薦 学校推薦型選抜試験(公募制) 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について(通知)(平成30年10月22日)」に基づき、入学試験の名称を変更した。 試験内容等については、「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施方法は設置計画とおりである。実施回数、受験者、合格者、入学者は資料6のとおりである。 学校推薦型選抜試験(公募制)では、募集定員5名対し、厳正なる審査を行い合格基準を満たした4名を合格とし、4名が入学した。</p> <p>入学前教育としてAO入試 総合型選抜試験及び推薦入試 学校推薦型選抜試験の合格者を対象に、思考力や表現力を問うために、最近のトピックスの中から興味をもったニュースを選び、感想文を提出させる。「将来の夢の実現や目標の達成に向けて、入学後どのような取り組みをしていきたいか具体例を挙げて述べてください。」または「感染症または伝染病からあなたの命を守る方法を以下いずれかのキーワードを入れて具体的に説明してください。【キーワード(ワクチン、新型コロナウイルス、インフルエンザ)】の2つのテーマから選択させ、400字以上の作文を提出させた。提出された感想文 作文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックした。</p> <p>認可(設置)時で計画していた課題のテーマは総合型選抜試験、学校推薦型選抜試験の小論文のテーマと類似していたため、教務委員会で検討の上、上記のテーマに変更し、設定した。</p>

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

<p>・ 社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 動物関係の資格保有者や動物病院をはじめとする動物関連企業で勤務した経験がある者で、今後学び直しを希望し、動物看護師を目指す者。または一般選抜と同様の大学入学資格を有し、入学年度の4月1日に満22歳以上である者を対象とする。 定員枠は若干名とし、小論文、面接、出願書類を総合的に判定する。 なお、入学手続き者に対し、動物看護実習に係る学力と関連する理数系科目について入学までに取り組むべき課題を課すこととする。</p>	<p>「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施方法は設置計画とおりである。実施回数、受験者、合格者、入学者は資料6のとおりである。 社会人入学試験では、募集定員若干名、受験者3人のところ、厳正なる審査と成績確認を行い1人を合格者とし、1人が入学した。 また、入学手続き者が3年間の動物看護実習に継続して参加できるようにするため、入学前教育として入学許可者に対して動物看護実習に係る学力と関連する理数系科目(生物、化学)の課題を課した。 加えて、思考力や表現力を問うために、総合型選抜試験及び学校推薦型選抜試験の合格者と同様の課題を課した。課題は教員による添削の上、提出者にフィードバックした。</p> <p>令和3年度の入学試験においては、学校推薦型選抜試験(指定校制)の推薦学校数を減らしたにも関わらず、指定校からの志願者が大幅に増え、かつ、志願者のレベルも高かったことから、指定校との関係性に配慮し、学校推薦型選抜試験(指定校制)の合格者を募集枠以上に認めざるを得なかった。今後は、志願に際しての全体の学習成績の状況(評定平均値)を上げる他、指定校の数を減らすなどの施策により、適正な入学者数となるよう努力する。</p> <p>(参考) 学校推薦型選抜試験(指定校制) 募集枠 15人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>志願者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31年度</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R 2年度</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R 3年度</td> <td>50</td> <td>37</td> <td>37 (募集枠より、22人超過)</td> </tr> </tbody> </table> <p>動物トータルケア学科入学定員 80人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>志願者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 3年度</td> <td>218</td> <td>110</td> <td>103 (入学定員より、23人超過)</td> </tr> </tbody> </table>		志願者数	合格者数	入学者数	H31年度	12	12	12	R 2年度	10	10	10	R 3年度	50	37	37 (募集枠より、22人超過)		志願者数	合格者数	入学者数	R 3年度	218	110	103 (入学定員より、23人超過)
	志願者数	合格者数	入学者数																						
H31年度	12	12	12																						
R 2年度	10	10	10																						
R 3年度	50	37	37 (募集枠より、22人超過)																						
	志願者数	合格者数	入学者数																						
R 3年度	218	110	103 (入学定員より、23人超過)																						

② 臨地実務実習

認可(設置)時の計画	履行状況
<p>・ 実習先の確保の状況 本学園は、日本ではじめて動物看護という領域の職業を確立し、以来50年にわたり動物関連産業及び多数の動物関連団体と深い絆を結んできた。 このため、動物病院及び動物関連企業と長年にわたる交流があり、その結果、臨地実務実習先として全国325施設の承諾を得ている。なお、1都6県からの進学者が見込まれることや教員の巡回指導及び学生の移動方法に鑑み、原則として1・2年次は1都6県を中心に臨地実務実習に参加することとする。なお、1都6県の臨地実務実習先は317件であり、実習先は十分に確保されている。</p>	<p>※実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても記入ください。</p> <p>令和3年度入学者は103名であり、定員80名より23名超過した。</p> <p>1年次後期・2年次前期科目である「臨地実習1」の実習先である本学併設ペットサロン「シブヤ・ドッグ・ビューティー」及び「臨地実習2」の実習先である本学併設動物病院「アニマル・メディカル・センター」における臨地実務実習では、科目配当期間内に全学生が、実習を終了する予定であり、定員超過による課題は発生していない。具体的な学生の配置状況は、「臨地実習1」及び「臨地実習2」ともに1日平均2～3名としている。 なお、実習学生の配置表は資料7の通りである。</p> <p>2年次以降の臨地実務実習科目である「臨地実習3」及び「臨地実習5」の実習先となる動物病院については、設置認可申請時に臨地実務実習先として、165件を確保しているため、十分に対応できる。(資料8)</p> <p>同じく2年次以降の開講科目である「臨地実習4」及び「臨地実習6」の実習先となる動物関連企業等については、設置認可申請時に臨地実務実習先として155件(本学認可(設置)時160件から廃業した5件を除く)を確保しているため、十分に対応できる。(資料8)</p>

<p>・実習水準の確保の方策 臨地実務実習のため「臨地実務実習委員会」を設置し、実習施設を選定して実習施設側と対応し事前事後教育及び教員の訪問計画を立案・実行する。 実習に際しては、専任教員による事前教育、事後教育を行う他、専任教員の分担による訪問を実施する。実習施設において実習指導担当者を選任していただき、実習指導者と事前の打ち合わせを行う。実習後の学生からの実習ノートによる報告、実習先の評価書に基づき、実習担当の専任教員により成績を評価する。 臨地実務実習施設を選定する基準について、以下のとおり動物病院と動物関連企業の業種ごとに説明する。</p> <p><動物病院> ・本学園の臨地実務実習病院若しくは卒業生が就職している動物病院で、臨床経験5年以上の獣医師、動物看護の経験が3年以上の動物看護師がいる動物病院である。 ・学生が実習期間中に自宅から通える範囲(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県の1都6県)である。</p>	<p>令和2年度は臨地実務実習委員会を中心に以下の通り実習水準の向上に取り組んだ。</p> <p>・委員会の開催及び審議事項等 第1回 令和2年5月22日(金) 出席者数:15人(専任教員9人、職員6人) 教員から選出される委員と担当事務職員で開催。 審議事項:①「臨地実習3」受入状況未回答病院の対応について ②「臨地実習3」の実習時間について③「臨地実習3」の学生配置について④「臨地実習3」受入施設への巡回及び実習指導者への説明会等実施について</p> <p>第2回 令和2年7月6日(月) 出席者数:11人(専任教員6人、職員5人) 審議事項:①臨地実習3受入施設への巡回担当者について</p> <p>第3回 令和2年8月19日(水) 出席者数:18人(専任教員12人、実習指導者1人、職員5人) 審議事項:①令和元年度第1回教育課程連携協議会における臨地実務実習改善案への対応策について</p> <p>第4回 令和2年9月30日(水) 出席者数:14人(専任教員11人、職員3人) 審議事項:①「臨地実習3」の事後授業について</p> <p>第5回 令和2年12月15日(火) 出席者数:15人(専任教員10人、職員5人) 報告事項:「臨地実習1」「臨地実習2」「臨地実習4」について</p> <p>第6回 令和3年3月4日(木) 出席者数:17人(専任教員13人、職員4人) 報告事項:「臨地実習3」「臨地実習4」「臨地実習5」「臨地実習6」について</p> <p>令和2年度の臨地実務実習は、夏季休暇中と春季休暇中に実施した。実習前後には、教育課程連携協議会や実習先との個別ミーティングを通じ、実習先が重要視している実習を通して学修して欲しい事項、問題点や課題等について確認し学内にフィードバックして改善を図った。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大に鑑み、実習指導者全員へ向けた説明会の開催は見送ったが、一部の臨地実務実習先の指導者は臨地実務実習委員会や教育課程連携協議会に出席を依頼し、大学教員と改善点等について意見交換を実施した。</p> <p><動物病院> 「臨地実習2」 令和2年度においては、渋谷キャンパス1号館に併設されている動物病院(アニマル・メディカル・センター)で3日間実施した。</p> <p>・実習水準向上の方策 設置計画に基づき、動物病院において実務家として社会に貢献する人材を養成するため、「臨地実習2」の動物病院は併設の「アニマル・メディカル・センター」(小規模動物病院)を選定した。 「アニマル・メディカル・センター」には本学園の卒業生が就労しており、臨床経験5年以上の獣医師及び動物看護の経験が3年以上の動物看護師が指導にあたり、実習指導者の基準を十分に満たしている。さらに、実習指導者には、本学開催のFD・SD研修会に積極的に参加を促し、その職業分野に関する識見等を広げることにより、実習水準の向上に努めている。</p> <p>「臨地実習2」は以下の流れで指導し、実習内容の充実を図っている。</p> <p>・事前教育 (1)学生は「臨地実習2」夏の本実習に向けて」と題したレポート①不安に感じること②期待すること、③学びたいことをまとめ、担当教員へ提出した。それを受けて教員は不安の解消に努め、学生自身が目標を持って実習に臨むよう意識付けを行った。 (2)学生はオリエンテーションを経て実習先の見学を行い、「見学実習レポート」を提出した。</p> <p>・実習期間中 学生は実習日誌にあたる「臨地実習2」動物病院実習レポートを作成した。</p> <p>・実習後 (1)学生はアニマル・メディカル・センターでの実習中に与えられた課題について一般的な薬剤の効能や疾病の説明等をまとめ、担当教員へ提出した。 (2)教員は実習指導者による「臨地実習2」評価書」を受理の上、評価内容を確認した。</p> <p>・事後教育 学生の自己評価と実習指導者による評価に基づき、OODA(ウーダーループ)法により学生は次の3項目についてグループディスカッションを行い、実習のまとめを作成することにより、「臨地実習3」の前に学習すべきこととチャレンジへの期待について再認識した。 ①修得した技術について ②修得が困難であった技術について ③インシデント(ヒヤリ・ハット)について</p>
--	--

上記①～③については、グループの代表者が発表した。その結果をもって「臨地実習2」の検証を行い、科目担当教員で意見交換の上、臨地実務実習委員会に報告した。臨地実務実習委員会における臨地実務実習の検証結果は、令和3年度第2回教育課程連携協議会の議題とし、外部委員の意見を反映し内容の改善に役立てる。

「臨地実習3」
令和2年度においては、学生がより通いやすい都3県を中心に、学生自ら対象動物病院について調べ、希望調査を行ったうえで適性にも鑑み配置し、8日間2か所にて実施した。

- ・実習先動物病院の選定は設置認可時に受入れ先病院として申請した動物病院の中でも一時診療を行っているところを対象に、今年度の実施日程に対する受入れの可否、期間と人員数、休診日、その他の条件調査を実施した上で決定し、学生にあらかじめ提示して希望先を調査・決定させておいた。学生の配置にあたって、新型コロナウイルス感染症感染拡大の中での実習であることから、学生居住地の最寄り駅調査後、選定した131の病院名、所在地、実習期間(I期～IV期、定休日)、条件を明記した表を張り出し、学生自身に第1希望から2～3ヶ所記入させ、重複した場合は話し合いで決定した。
- ・配置学生及び日程が決定した実習先71動物病院には、新型コロナウイルス感染症感染拡大により概要説明会開催が困難な状況から、書面をもって、本校の職業教育に関わる実施協定書、実習学生名簿、実習概要、実習内容及び到達目標、実習中の教員による巡回、「臨地実習3」評価書、学生が持参する実習関連書類(誓約書、履歴書、実習計画書、毎日の実習記録書)の配布内容を説明し、不明点は電話での対応とした。
- ・実習後は1週間をめぐり評価書を返送してもらい、本学の校風である「礼節」に沿ってお礼状を送った。

「臨地実習3」は以下の流れで指導し、実習内容の充実を図っている。

- ・事前教育
 - (1) オリエンテーション:臨地実務実習の意義、実習の流れ(事前授業、本実習[実働1日7時間で8日間を2ヶ所、または合計56時間以上を2ヶ所]、事後授業、レポート作成・提出)について、履歴書の書き方、下見に行く必要性、動物病院からの10の要望
 - (2) 礼儀作法・マナー(訪問時、社会人として)、電話対応、お礼の手紙の書き方、実習中のメモの取り方
 - (3) 実習科目の復習I(基礎・内科関係)
 - (4) 実習科目の復習II(検査関係)
 - (5) 実習科目の復習III(外科関係)
 - (6) その他:実習関連書類の配布と実習初日に持参する書類、毎日の実習記録書の書き方、実習における注意事項、アレルギー及び持病の自己申告(場合によっては、事前に、教員または本人から先方に連絡をした。)
- ・実習期間中
 - (1) 実習期間内で1日は先方と相談の上、休みを取る
 - (2) 実習記録は毎日の実習目標を明記したものに、実習した内容を時系列に書き、最後にまとめとしての感想または反省・改善点、達成度、質問等を記入して、実習指導者のチェック/押印をいただく。
 - (3) 全教員による巡回の実施:アポイントメントをとる際には必ず学生の出席日であることを確認し、声掛け指導をする。学生一人に対し必ず教員が面会できるよう教員間で話を調整をする。先方には巡回報告書の項目(実習学生の様子、実習期間、短大への要望、就職採用関連等)に従い内容を揃えて質問して情報を共有する。
 - (4) 学生には、遅刻・欠席、体調不良、器物破損は必ず報告させる。
 以上のことを考慮して実施した。
- ・事後教育
 - (1) 実習記録書及びレポート課題(1. 動物看護師の仕事(役割)10以上と、その解説、2. 感染防止や事故防止について現場で学んだこと、3. 今後、看護学を学んでいく上で大切だと思ったこと、4. 実習ではどのような状況で反省をし、その後どのように取り組んだか(ヒヤリハット等)、5. 今後の進路選択を含め、今回の実習で学んだことや感想、考えたことを自由に記載)を小冊子様に作成して提出させた。巡回に行った教員を中心に、あらかじめ提示した「①実習出来た/出来なかった項目の5段階チェック、②経験できてよかった内容、③失敗した点や後悔したこと、④③に対して工夫または改善した点、⑤挨拶、積極性、仕事内容の理解、実習記録書等に関する12項目をそれぞれ5段階自己評価」に対する回答を記入したプリントをもとに、少人数によるグループディスカッションを行った。さらに経験できた/した事柄の情報交換・共有をし、最後にグループごとに結果を発表させた。
 - (2) 学生のみでの反省を含めた総括の場とし、さらに後輩への手紙として病院ごとの情報をできる限り客観的に書かせて次年度に繋げるようにした。
 以上の結果を科目担当教員がまとめ、臨地実務実習委員会への報告を通して教授会、及び教育課程連携協議会の議題とし、学生の実習水準向上に役立てていく。

<p><動物関連企業等> ・本学園の卒業生が就職している企業・店舗を含み、経営が安定している動物関連企業等である。 ・3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる企業・店舗等である。 ・学生が実習期間中に自宅から通える範囲(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県の1都6県)である。 ・その他の動物関連企業 その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等 ・動物関連団体 動物に関する公益団体等で公益的な活動を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している事務所等</p>	<p><動物関連企業等> 「臨地実習1」 令和2年度においては、渋谷キャンパス1号館に併設されているペットサロン(シブヤ・ドッグ・ビューティ)で3日間実施した。</p> <p>・実習水準向上の方策 「臨地実習1」では、設置計画に基づき、本学園の卒業生が就労し、3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる併設の「シブヤ・ドッグ・ビューティ」を選定した。実習指導者には、本学開催のFD・SD研修会に積極的に参加を促し、その職業分野に関する識見等を広げることにより、実習水準の向上に努めている。</p> <p>学生に対しては、「臨地実習2」と同様に事前教育・事後教育を以下の流れで指導し、実習内容の充実を図っている。</p> <p>・事前教育 (1)ビジネスマナー、お礼状作成、メモの取り方の説明と実践、および実習先「シブヤ・ドッグ・ビューティ」の紹介と実習説明を実施した。 (2)学生はオリエンテーション後、実習先の見学を行い、「見学実習レポート」を提出した。内容は、見学した感想、学びたいこと、自身の準備や不安なこと等をまとめた。また、図書館を活用し、提出課題「犬の品種について」のレポートを作成した。レポートでは各自1品種を選定し、その犬種の歴史やグルーミング方法等、写真、イラストなどを用いてまとめた。尚、R3年度は新型コロナウイルス感染症の3密対策のため、見学の1部にライブ配信を取り入れた見学実習を実施した。</p> <p>・実習期間中 学生は実習日誌にあたる「臨地実習1 シブヤ・ドッグ・ビューティ 実習レポート」を作成した。アレルギーや持病について学生から申告を促し、また、配慮が必要な学生はクラスアドバイザーが情報を収集し、実習先と共有した。</p> <p>・実習後 教員は実習指導者による『「臨地実習1」評価書』を受理の上、評価内容を確認した。また、お礼状作成の練習を行った。</p> <p>・事後教育 学生はグループディスカッションの実施及び実習のまとめを作成した。このディスカッションで学生は、自己評価と実習指導者による評価を参考にディスカッションを行った。 グループディスカッション後には、①Plan(計画)②Do(実行、実施)を、③Check(評価、検討)④Action(改善、見直し)をディスカッションシートにまとめる学習を行い、各グループごとに報告を行った。 事後教育の最後に、学生は「臨地実習1」のまとめを提出した。尚、R2年度の前期履修クラスは新型コロナウイルス感染症の影響により、ICTを活用したオンラインでのグループディスカッションを実施した。コロナ禍で他クラスと同じ条件下での運用が叶わなかったが、オンライン等を活用し工夫をしたことにより、同程度の教育効果の期待値をほぼ達成できた。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症で制限されることが多かったが、新たにオンラインの活用等、新たなツールを取り入れ教育に工夫できることも増えた。どのような状況下においても教育は止められないことを再認識し、これまで以上に、事後教育において実習の振り返りを十分に行い学修成果を高めるとともに、授業を学生と教員双方の立場から検証し、学生の実習水準向上に役立てていく。</p> <p>「臨地実習4」 令和2年度においては、「臨地実習3」の学外動物病院実習8日間2か所で学修したマナーやコミュニケーションを基に動物関連企業及び、団体において1都6県において実施した。内訳は、ペットショップ、グルーミングサロン、ペットホテル、警察犬訓練施設、ペット同伴宿泊施設、聴導犬育成団体等、53施設について8日間2か所を実施した。 実習期間中に教員が巡回訪問を行い、実習受け入れ側の様子と意見を聞き、実習学生の様子を確認し、意見を聴取し助言を行った。</p> <p>・実習水準向上の方策 設置計画に基づき、動物関連企業および団体において現場で業務を学び経験豊富な指導者によりマナー、コミュニケーション、業種ごとに必要とされる知識を指導しただけの様に調整し実施した。動物関連企業では、大手企業から個人企業まで協力いただき、職域選択及び、職業意識の拡充に役立つことに努めている。 臨地実習4は以下の流れで指導し、実習内容の充実を図っている。</p> <p>・事前教育 (1)オリエンテーション1:動物関連企業及び団体に関する情報提供(大手企業から個人経営、関連団体について):対面式 (2)オリエンテーション2:動物関連企業及び団体の実習に向けた、履歴書作成のポイント、コミュニケーション、マナーについて:対面式 (3)オリエンテーション3:学生が実習先として選択後、実習先における日報作成方法、更に学習のポイントについて分野別に説明:ハイブリット方式</p> <p>・実習期間中 学生は、毎日実習日誌(報告書)を作成し、実習指導者による確認を行った。また、教員による巡回指導を実施した。</p>
---	---

<p>・ 実習先との連携体制</p> <p>臨地実務実習施設の実習指導者と本学の実習担当教員が適時に連絡を取り、実習全般の調整を行う。実習担当教員は、実習中の巡回指導時において本学と実習施設と情報交換し、十分な連携を図る体制を構築する。</p> <p>実習施設への巡回は、実習期間の前後及び期間中に原則として1回実施するものとし、実施施設からの要望に応じても訪問する。巡回指導時には、実習目標の達成や課題について本学教員、学生、実習指導者が相互に認識し合い、連携した指導体制とする。</p> <p>巡回指導時には、学生からの問題点や学習の達成状況等について、実習が円滑に展開するために指導・支援し、学生の抱える悩みについて相談を受け、指導・助言して実習の充実を図る。</p> <p>実習担当教員は、臨地実務実習委員会と一体となって、臨地実務実習の計画・実施・評価、臨地実務実習指導体制の構築、実習施設の実習指導者との実習内容と実習方法の連絡・調整を行う。実習施設の実習指導者は、業務について経験と知識・技術を持ち、本学の提示する実習計画に基づき実習環境を整備し、スタッフとの調整、実習の評価等を行い、本学実習担当教員との連絡にあたる。</p> <p>・ 連携実務演習等</p> <p>記載なし。</p>	<p>・事後教育</p> <p>(1) 学生は業種ごとに8グループに分かれ、実習成果、問題点についてグループディスカッションを行い、実習のまとめを作成した。指導教員による、実習先からの評価についてフィードバックを行った。</p> <p>(2) 学生からの意見を基に、動物関連企業及び団体における接遇・マナー、お礼状の書き方等、指導教員によりクラス別のフォローアップを実施した。</p> <p>「臨地実習1」「臨地実習2」「臨地実習3」「臨地実習4」においては、上記の実施状況、結果及び巡回報告等について臨地実務実習委員会で報告し、令和3年度第2回教育課程連携協議会の議題とし、外部委員の意見を反映し内容の充実と改善に役立てる。</p> <p>令和2年度においては、以下に取り組んだ。</p> <p>実習開始前後に、担当教員と実習指導者が密に連絡を取り、学生の受入れに関する双方の注意点、新型コロナウイルス感染症感染防止対策等について情報共有し、体制を整えて実習を実施した。</p> <p>実習施設への巡回は、新型コロナウイルス感染症に鑑み実習先へ事前に巡回可否について確認を取ったうえで、可能施設において巡回を実施し、実習目標や課題、問題点について教員と学生、教員と実習指導者が確認し、改善に努めた。なお、巡回不可の施設については、学生や実習指導者と電話やメールを利用して連絡し不足なく対応した。</p> <p>担当教員は、計6回開催した臨地実務実習委員会を通して、臨地実務実習の計画から評価、巡回指導、改善点や反省点について十分に議論、検討した上で、実習計画を遂行した。</p> <p>夏季休暇期間中を活用し、9日間ずつ4期に分けて、休診日を除く8日間で実施できる予定であったが、期間を続けて実習に行った学生の中には疲れが出て休んでしまった者が出たり、休診日の他に土・日・祝日が半日診療で午後の実習はなかったり、週に2日休診日があるなどして、実習条件に満たないことも発生したが、実習先と協議し、実習の日程を変更または実習期間を延長するよう対応した。実習用携帯電話を担当教員が順番に所持し、学生や実習先からの連絡に対応していたが、このようなトラブルに際しては、窓口を1つに絞ることで解決に繋がった。しかし、次年度からの受け入れ可否伺いの際には、より細かい調査を練り直して対処することとした。事前教育の際には、申告のなかった喘息がでて、新型コロナウイルス感染症禍のなかで、PCR検査をした学生も1人いたが、あらかじめ考えていた対応策で大事にならず済んだが、体調に対する自己責任、自己管理は徹底して指導を続けていく。</p>
--	--

③ その他

認可（設置）時の計画	履 行 状 況
<p>・ 同時に授業を行う学生数が40人を超える場合に講じる措置</p> <p>展開科目の1クラス80人として開講する科目は、著名な非常勤講師を招聘しているため、教育効果を配慮して授業終了後にメール等による質疑応答等を行う。更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。</p>	<p>※実際に実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても記入ください。</p> <p>学生数が40人を超えて対面授業を実施した科目は以下のとおりである。 (7 その他全般的事項 (1) 設置計画変更事項等 の再掲)</p> <p>「高齢者心理」(2年次後期選択科目)41名 履修登録時は40名開講予定であり、履修登録確認期間に1名追加があったが、教育効果に大きな影響は見られないと判断し1クラス41名にて開講した。</p> <p>「動物看護ソーシャルワーク」(2年次後期必修科目)55名 本科目は小グループでのディスカッションを取り入れるため、新型コロナウイルス感染症禍においても対面授業が望ましい科目であるが、感染防止対策として、感染リスクの高い渋谷への通学日を極力減らし学生が対面授業(講義)を受ける曜日を限定したため、1クラス55名以上にて開講した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、実習科目を1学年3班(30名～32名)に分け時間割を変更して実施し、それに対応して以下の科目は、学生が講義科目を対面で受ける曜日を限定し渋谷への通学日を極力減らすため実習班3分の1(32名程度)及び3分の2(62名～63名)に分けて対面で開講した。</p> <p>「動物臨床検査学」(1年次後期必修科目)63名 「動物感染症学」(1年次後期必修科目)62名 「動物病理学」(1年次後期必修科目)62名 「動物形態機能組織学」(1年次後期必修科目)62名</p> <p>60名以上で開講した場合、教育効果が低下しないよう授業前後に教員が教室に待機し、直接質疑応答ができるよう配慮した。また、メール等でも質疑応答を可能とした。さらに、授業毎にリアクションペーパーの提出や小テスト等を実施し、それに対して次回講義時に教員よりフィードバックしや解説等を行うというインタラクティブに学習できる工夫を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防に配慮の上、専門職短期大学の特色を生かすべく、対面での講義・実習を可能な限り優先して実施することにより、教育の質を担保に努めた。</p> <p>また、実習授業については、2年次生は入学時より在学者56人を2クラスに分けて教育していたためコロナ禍の体制について問題はなかった。しかし、1年次在学者数95人については、3クラスに分けて実習を行った。実習授業の密を避けるため、授業開講数は通常時の1.5倍となった。なお、講義授業についても実習授業と同様に3クラスに分けて実施することも検討した。その場合、時間割に5時限(16:30～18:00)を設定しなければならないことになる。一方で、本学は渋谷区松濤に立地し、多くの学生が渋谷駅を利用するため新型コロナウイルス感染症予防の観点から渋谷駅及びその周辺の混雑する時間を避ける対策を講じ、講義時間に関しては時間割に鑑み1クラス概ね30人体制と概ね60人体制の2クラスで授業を行うことにした。1クラスは収容定員54人の講義室を使用し、2クラス目は収容定員108人の講義室を使用することで、学生が密な状態にならない対策を講じ講義授業を行った。</p> <p>今般のコロナ禍において、窮余の策として40人以上のクラス運営を余儀なくされたが、当該クラス運営を実施した結果、当該授業の習熟度を計る試験の成績は、いずれも前年度を上回った結果となり、加えて、グループワークの発表の際には、1クラス授業と比して、多様な意見が提出され、多面的な考察が深まったという教育効果が、副次的ではあるが、認められた。</p> <p>なお、本年(令和3年)12月にほぼ本学専用の渋谷キャンパス2号館B棟の増築が竣工した暁には、80人クラスとして認可いただいている授業を除く、全ての授業について1クラス40人以下授業となることを、申し添える。</p> <p>80人クラス開講科目の令和3年度科目担当者の変更 「少子高齢社会と人口問題」 3年次生が展開科目で履修(後期・選択)する「少子高齢社会と人口問題」の担当者は、健康上の理由から変更せざるを得ないことが生じた。このため、後任の担当者を選任するにあたっては、前任者同様、新聞社の論説副主幹等を経て、大学の教授等として少子高齢化・人口減と絡めた地方創成等の講義を行っている方とし、同氏もメディア等で活躍するなど貴重な人材であり、授業内容には高い効果が認められることから、1クラス80人とする。</p> <p>「高齢者心理」 2年次生が展開科目で履修(後期・選択)する「高齢者心理」の担当者は、自己都合により退職されたことから変更せざるを得ないことが生じた。このため、後任の担当者を選任するにあたっては、前任者同様、スクールカウンセラーとして経験や、専門学校、大学での非常勤講師として活躍されるなど、授業内容には高い効果が認められることから、1クラス80人とする。</p>

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

・入学前の実務経験を単位に換算した場合、その実施状況
(換算の対象とした実務経験の内容と、換算した単位数、適切な換算が行われていることを説明すること。また換算の根拠となる規定等も添付すること)

ヤマザキ動物看護専門職短期大学学則に以下のとおり定めている。

第3節 教育課程及び履修方法等

(入学前の既修得単位の認定)

第29条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(第44条に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上必要と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、第27条第1項及び第2項並びに前条第1項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて46単位を超えないものとする。

4 前3項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

5 前項までの規定にかかわらず、動物看護の専門性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、動物看護師を担うための実践的な能力を修得している場合に、当該実践的な能力を本学において修得したものとみなし、単位を与えることができる。

6 前項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、23単位を超えないものとする。

令和2年度社会人選抜試験で以下の出願資格(1)において1名入学生があったが、入学前の実務経験は単位換算対象に該当しなかったため単位認定の実績は無い。

出願資格

(1) 満22歳以上(令和3年4月1日現在)で次に掲げる出願資格のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
 - ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- (2) 動物関係の資格保有者や動物病院をはじめとする動物関連企業で勤務経験がある者で、今後学び直しを希望し、動物看護師を目指す者

なお、入学前の既修得単位の認定に関する規定は「認可(設置)時の計画」から変更はない。

以下の資料は、防犯上の理由及び個人情報のため、非公開とした。

資料1 ヤマザキ学園 渋谷キャンパス2号館 B 棟 増築工事費用

資料2 学校法人ヤマザキ学園 渋谷キャンパス2号館 B 棟増築計画

資料3 教室一覧(設置認可申請書添付資料)

資料5 教育課程連携協議会構成員名簿

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 令和3年度時間割(前期)

講義時間			1限(9:10~10:40)			2限(10:50~12:20)			3限(13:10~14:40)			4限(14:50~16:20)											
			科目名		教室	担当者	科目名		教室	担当者	科目名		教室	担当者									
月	1年	A	1班				生命倫理学			342	山北	動物臨床看護学(基礎・内科)実習			321	*** ** ** ** *							
			2班	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)						301	宮田												
		B	2班				動物臨床看護学(基礎・内科)実習						361	362	山北	動物形態機能学	361	362	本田				
			3班							321			*** ** ** ** *										
		2年	A	1班	臨地実習2(事後教育)	361	362	本田他	訪問動物看護学			361	362	花田(祥)	コンパニオンドッグトレーニング実習			361・352	山本(央)				
				2班										コンパニオンアニマルケア実習(応用)			301	宮田					
	B		2班				訪問動物看護学			341	花田(祥)	英語Ⅱ(選)			341	加藤							
	3年	A				動物人間関係学			172	山川	動物トータルケア総合演習2			131・132			藤村・井上						
		B				動物トータルケア総合演習2			131・132			藤村・井上	動物人間関係学			172	山川						
	火	1年	A	1班	動物生理・繁殖学	361・362	谷川・鎌田	心理学(選)			361・362	齋藤	動物看護学概論	143	花田(道)	動物臨床看護学(基礎・内科)	143	花田(道)					
				2班	コンパニオンアニマルケア論	342	宮田 高野	動物生理・繁殖学			342	谷川 鎌田	心理学(選)			342	齋藤						
			B	2班										臨地実習2(事前教育)			131	132	本田他				
3班				動物生理・繁殖学	361・362	谷川・鎌田	心理学(選)			361・362	齋藤												
2年			A	1班				動物飼育管理論			131	132	堀井 鎌田	動物トータルライフ環境論	361	362	奥山 南村 宮下	コンパニオンドッグトレーニング論	361	362	山本(央)		
				2班										コンパニオンドッグトレーニング論			341	山本(央)	動物トータルライフ環境論	342	奥山・南村・宮下		
		B	2班	動物飼育管理論	131・132	堀井・鎌田																	
3年		A																					
		B																					
水		1年	A	1班	コンパニオンアニマルケア論	361・362	宮田・高野	伴侶動物学			361・362	宮田・早田・小嶋	動物形態機能学			172	本田						
				2班	動物臨床看護学(基礎・内科)実習						321	*** ** ** ** *	伴侶動物学			143	宮田 早田 小嶋						
			B	2班																			
	3班			コンパニオンアニマルケア論	361・362	宮田・高野	伴侶動物学			361・362	宮田・早田・小嶋												
	2年		A	1班	動物臨床看護学(外科)実習						371	高柳・井上	動物臨床看護学(外科)			361	362	高柳	野生動物学	361	362	天野	
				2班	コンパニオンドッグトレーニング実習						351	352	山本(央)										
		B	2班										野生動物学			341	天野	動物臨床看護学(外科)	341	高柳			
	3年	A	災害危機管理論(選)	341	本田・福山	動物口腔ケア論(選)			341	鈴木				産業論(選)			342	越村					
		B	動物口腔ケア論(選)	342	鈴木	災害危機管理論(選)			342	本田・福山	産業論(選)			342	越村								
	木	1年	A	1班	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)						301	宮田	コミュニケーション論(選)	342	中村	公衆衛生学			342	本田			
				2班	動物看護学概論	361	362	花田(道)	動物臨床看護学(基礎・内科)			361	362	花田(道)	公衆衛生学			361	362	本田	コミュニケーション論(選)	361	362
			B	2班																			
3班																							
2年			A	1班	動物臨床看護学(外科)実習						371	高柳・井上	動物薬理学			342	藤村	英語Ⅱ(選)			172	加藤	
				2班	英語Ⅱ(選)			172			加藤	英語Ⅱ(選)			172	加藤	動物臨床看護学(外科)実習			371	高柳 井上		
		B	2班	動物臨床看護学(外科)実習						371	高柳・井上	コンパニオンアニマルケア実習(応用)			301			宮田					
3年		A	動物トータルライフ演習(選)	後日揭示	荒木・長岡																		
		B	動物トータルライフ演習(選)	後日揭示	荒木・長岡																		
金		1年	A	1班	コンピューターリテラシー(情報処理)ⅠA①	PC教室	近藤	コンピューターリテラシー(情報処理)ⅠA②	PC教室	近藤	臨地実習1(事前教育)			131	132	井上他							
				2班	英語ⅠA②	172	加藤	英語ⅠA①			172	加藤											
			B	2班										コンピューターリテラシー(情報処理)ⅠB①	PC教室	近藤	コンピューターリテラシー(情報処理)ⅠB②	PC教室	近藤				
	3班			コンパニオンアニマルケア実習(基礎)						301	宮田	英語ⅠB②			172	加藤	英語ⅠB①			172	加藤		
	2年		A	1班	動物トータルケア総合演習1	361	362	山川・藤原	動物トータルケア総合演習1			361	362	山川・藤原	コンパニオンアニマルケア実習(応用)			301	宮田				
				2班				臨地実習3(事前教育)			362	花田(道)他											
		B	2班				動物トータルケア総合演習1			後日揭示	山川・藤原	動物トータルケア総合演習1			後日揭示	山川・藤原							
	3年	A	産業・実験動物学	342	梅村・鎌田																		
		B				産業・実験動物学			342	梅村・鎌田	ジェロントロジー(選)			361	362	五十嵐	臨地実習4 臨地実習5(選) 臨地実習6(選) 臨地実習7(選) (事前事後教育)			361	362	本田他 花田(道)他 山川他	
	土	1年	A	1班																			
				2班																			
			B	2班																			
3班																							
2年			A	1班				社会福祉学(選)			361・362	庄司	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ(選)	PC教室	近藤	研修・ボランティア活動(選)(1~3年)			361	362	井上他		
				2班	社会福祉学(選)	361	362	庄司	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅲ(選)	PC教室	近藤	動物薬理学			361	362	藤村	臨地実習1(事後教育)2年Bクラス				143	
		B	2班																				
3年		A	動物リハビリテーション論(選)	172	本田 井上																		
		B																					

※「臨地実習1(1年Aクラス)」の見学実習、「臨地実習2(1年Bクラス)」の見学実習の開講日については、別途お知らせします。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 令和3年度時間割(後期)

講義時間			1限(9:10~10:40)			2限(10:50~12:20)			3限(13:10~14:40)			4限(14:50~16:20)															
			科目名		教室	科目名		教室	科目名		教室	科目名		教室													
月	1年	A	1班	動物臨床検査学実習			371	動物臨床看護学(基礎・内科)実習			321																
			2班	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)			301	動物臨床検査学実習			371	藤原山村															
		B	2班																								
			3班	動物臨床看護学(基礎・内科)実習			321	動物病理学			341	藤村															
		2年	A	1班					コンパニオンドッグトレーニング実習			351・352	山本(央)														
				2班	コンパニオンドッグトレーニング実習			351 352	コンパニオンアニマルケア実習(応用)			301	宮田														
	B		2班																								
	3年	A		動物トータルケア総合演習2	341	藤村・井上		臨床実習5(事後授業)(選)	361・362	花田 他	少子高齢社会と人口問題(選)	342	山路														
		B						臨床実習6(事後教育)(選)	342	山川 他			少子高齢社会と人口問題(選)	342	山路												
	火	1年	A	1班	臨地実習1(見学実習) 井上 他 臨地実習2(見学実習) 本田 他			キャリアマネジメント(選)			131 132	荒木		英語 I A①		172	加藤										
				2班																							
			B	2班																							
3班																											
2年			A	1班							環境生物学(選)		361 362	谷川	動物看護ソーシャルワーク	342	山川	高齢者心理(選)	342	齋藤							
				2班																							
		B	2班	高齢者心理(選)		361 362	齋藤		動物看護ソーシャルワーク	361 362					山川	臨地実習3(事後授業) 臨地実習4(事前授業)		361 362	花田他 本田他								
3班																											
3年		A						情報機器管理論(選)	341	栗木・近藤					動物口腔ケア実習(選)			321	鈴木								
		B		情報機器管理論(選)		341	栗木・近藤									動物トータルケア総合演習2	341	藤村・井上									
水		1年	A	1班	動物臨床検査学	131・132	藤原		社会学(選)			361・362	新島			動物形態機能学・組織学実習		371	藤原・山村								
				2班	動物臨床看護学(基礎・内科)実習			321	社会学(選)			361 362	新島		動物臨床検査学		342	藤原									
	B		2班																								
			3班	動物臨床検査学	131・132	藤原		動物形態機能組織学			342	本田															
	2年		A	1班	動物臨床看護学(外科)実習			371	高橋・井上																		
				2班																							
		B	2班																								
	3年	A												死生学(選)		341	新島										
		B		死生学(選)		341	新島					動物口腔ケア実習(選)			321	鈴木											
	木	1年	A	1班	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)			301	宮田						動物行動学		361 362	杉山									
				2班																							
			B	2班	英語 I B②			342	加藤		動物行動学			342	杉山		動物臨床検査学実習		371	藤原・山村							
3班																											
2年			A	1班	動物トータルケア総合演習1			361 362	山川 藤原		臨地実習3(事後授業) 臨地実習4(事前授業)	361 362	花田他 本田他		動物臨床看護学(外科)実習			321	高柳 井上								
				2班																							
		B	2班																								
3年		A		医療安全(選)		341	今井																				
		B						医療安全(選)	341	今井		消費者行動分析学(選)	361 362	杉山													
金		1年	A	1班	動物形態機能学・組織学実習			371			高柳 山村			動物病理学		131 132	藤村		英語 I A②		342	加藤					
				2班																							
			B	2班																							
	3班			コンパニオンアニマルケア実習(基礎)												301	宮田			動物形態機能学・組織学実習			371	藤原・山村			
	2年		A	1班												コンパニオンアニマルケア実習(応用)			301			宮田					
				2班												生活とアート(選)		361 362	長能		動物臨床栄養学	361 362	花田				
		B	2班																								
	3年	A		IT社会論(選)		131 132	竹田		起業論(選)	131 132	石渡		動物愛護・福祉と関連法規	172	菅野		情報機器管理論(選)	172	栗木・近藤								
		B						情報機器管理論(選)	143	栗木・近藤		動物愛護・福祉と関連法規	143	菅野													
	土	1年	A	1班	臨地実習1(事後教育) 臨地実習2(事前教育)			131 132			井上他 本田他			動物感染症学		131 132	藤村		動物形態機能組織学		131 132	本田					
				2班																							
			B	2班																							
3班				動物感染症学												361 362	藤村		臨地実習2(事後教育) 臨地実習1(事前教育)	361 362	井上他 本田他						
2年			A	1班																							
				2班																							
		B	2班																								
3年		A																									
		B																									

※「臨地実習1(1年Bクラス)」の見学実習、「臨地実習2(1年Aクラス)」の見学実習の開講日については、別途お知らせします。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 令和3年度入学試験実施状況

	一般選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜 (指定校制)	学校推薦型選抜 (公募制)	社会人選抜	合計
募集人員	10	50	15	5	若干名	80
設置回数	2	6	2	2	2	14
実施回数	2	6	2	2	1	13
受験者	49	98	50	11	3	211
合格者	8	60	37	4	1	110
入学者	5	56	37	4	1	103

令和3年度「臨地実習1」(1年Aクラス) 実習日程表

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
1	211001	5/8(土)、9(日)、15(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
2	211002	5/8(土)、9(日)、16(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
3	211003	5/9(日)、15(土)、16(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
4	211004	5/16(日)、22(土)、23(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
5	211005	5/22(土)、23(日)、29(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
6	211006	5/23(日)、29(土)、30(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
7	211007	5/30(日)、6/5(土)、6(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
8	211008	5/30(日)、6/5(土)、6(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
9	211009	6/6(日)、12(土)、13(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
10	211010	6/12(土)、13(日)、19(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
11	211011	6/13(日)、19(土)、20(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
12	211012	6/20(日)、26(土)、27(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
13	211013	6/20(日)、26(土)、27(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
14	211014	6/27(日)、7/3(土)、4(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
15	211015	7/3(土)、4(日)、10(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
16	211016	7/4(日)、10(土)、11(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
17	211017	7/11(日)、17(土)、18(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
18	211018	7/11(日)、17(土)、18(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
19	211019	7/18(日)、8/5(土)、6(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
20	211020	8/5(土)、6(金)、13(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
21	211021	8/13(金)、14(土)、15(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
22	211022	8/14(土)、15(日)、19(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
23	211023	8/15(日)、19(木)、20(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
24	211024	8/20(金)、21(土)、22(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
25	211025	8/21(土)、22(日)、23(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
26	211026	8/22(日)、23(月)、24(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
27	211027	8/24(火)、25(水)、26(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
28	211028	8/25(水)、26(木)、27(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
29	211029	8/27(金)、28(土)、29(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
30	211030	8/28(土)、29(日)、30(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
31	211031	8/29(日)、30(月)、31(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
32	211032	8/31(火)、9/1(水)、2(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
33	211033	9/1(水)、2(木)、3(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
34	211034	9/3(金)、4(土)、5(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
35	211035	9/4(土)、5(日)、6(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
36	211036	9/5(日)、6(月)、7(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
37	211037	9/7(火)、8(水)、9(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
38	211038	9/8(水)、9(木)、10(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
39	211039	9/10(金)、11(土)、12(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
40	211040	9/12(日)、13(月)、14(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
41	211041	9/13(月)、14(火)、15(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
42	211042	9/15(水)、16(木)、17(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
43	211043	9/16(木)、17(金)、18(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
44	211044	9/18(土)、19(日)、21(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
45	211045	9/19(日)、21(火)、22(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
46	211046	9/19(日)、22(水)、24(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
47	211047	9/24(金)、25(土)、26(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
48	211048	9/25(土)、26(日)、10/2(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
49	211049	9/26(日)、10/2(土)、3(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
50	211050	10/3(日)、9(土)、10(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
51	211051	10/9(土)、10(日)、16(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
52	201047	10/10(日)、16(土)、17(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	

令和3年度「臨地実習2」(1年Bクラス) 実習日程表

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
1	211052	5/8(土)、15(土)、22(土)	アニマル・メディカル・センター	
2	211053	5/8(土)、15(土)、22(土)	アニマル・メディカル・センター	
3	211054	5/15(土)、22(土)、29(土)	アニマル・メディカル・センター	
4	211055	5/29(土)、6/5(土)、12(土)	アニマル・メディカル・センター	
5	211056	5/29(土)、6/5(土)、12(土)	アニマル・メディカル・センター	
6	211057	6/5(土)、12(土)、19(土)	アニマル・メディカル・センター	
7	211058	6/19(土)、26(土)、7/3(土)	アニマル・メディカル・センター	
8	211059	6/19(土)、26(土)、7/3(土)	アニマル・メディカル・センター	
9	211060	6/26(土)、7/3(土)、10(土)	アニマル・メディカル・センター	
10	211061	7/10(土)、17(土)、24(土)	アニマル・メディカル・センター	
11	211062	7/10(土)、17(土)、24(土)	アニマル・メディカル・センター	
12	211063	7/17(土)、24(土)、8/5(木)	アニマル・メディカル・センター	
13	211064	8/5(木)、6(金)、7(土)	アニマル・メディカル・センター	
14	211065	8/5(木)、6(金)、7(土)	アニマル・メディカル・センター	
15	211066	8/6(金)、7(土)、13(金)	アニマル・メディカル・センター	
16	211067	8/13(金)、14(土)、16(月)	アニマル・メディカル・センター	
17	211068	8/13(金)、14(土)、16(月)	アニマル・メディカル・センター	
18	211069	8/14(土)、16(月)、17(火)	アニマル・メディカル・センター	
19	211070	8/17(火)、18(水)、19(木)	アニマル・メディカル・センター	
20	211071	8/17(火)、18(水)、19(木)	アニマル・メディカル・センター	
21	211072	8/18(水)、19(木)、20(金)	アニマル・メディカル・センター	
22	211073	8/20(金)、21(土)、23(月)	アニマル・メディカル・センター	
23	211074	8/20(金)、21(土)、23(月)	アニマル・メディカル・センター	
24	211075	8/21(土)、23(月)、24(火)	アニマル・メディカル・センター	
25	211076	8/24(火)、25(水)、26(木)	アニマル・メディカル・センター	
26	211077	8/24(火)、25(水)、26(木)	アニマル・メディカル・センター	
27	211078	8/25(水)、26(木)、27(金)	アニマル・メディカル・センター	
28	211079	8/27(金)、28(土)、30(月)	アニマル・メディカル・センター	
29	211080	8/27(金)、28(土)、30(月)	アニマル・メディカル・センター	
30	211081	8/28(土)、30(月)、31(火)	アニマル・メディカル・センター	
31	211082	8/31(火)、9/1(水)、2(木)	アニマル・メディカル・センター	
32	211083	8/31(火)、9/1(水)、2(木)	アニマル・メディカル・センター	
33	211084	9/1(水)、2(木)、3(金)	アニマル・メディカル・センター	
34	211085	9/3(金)、4(土)、6(月)	アニマル・メディカル・センター	
35	211086	9/3(金)、4(土)、6(月)	アニマル・メディカル・センター	
36	211087	9/4(土)、6(月)、7(火)	アニマル・メディカル・センター	
37	211088	9/7(火)、8(水)、9(木)	アニマル・メディカル・センター	

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
38	211089	9/7(火)、8(水)、9(木)	アニマル・メディカル・センター	
39	211090	9/8(水)、9(木)、10(金)	アニマル・メディカル・センター	
40	211091	9/10(金)、11(土)、13(月)	アニマル・メディカル・センター	
41	211092	9/10(金)、11(土)、13(月)	アニマル・メディカル・センター	
42	211093	9/11(土)、13(月)、14(火)	アニマル・メディカル・センター	
43	211094	9/14(火)、15(水)、16(木)	アニマル・メディカル・センター	
44	211095	9/14(火)、15(水)、16(木)	アニマル・メディカル・センター	
45	211096	9/15(水)、16(木)、17(金)	アニマル・メディカル・センター	
46	211097	9/17(金)、18(土)、21(火)	アニマル・メディカル・センター	
47	211098	9/17(金)、18(土)、21(火)	アニマル・メディカル・センター	
48	211099	9/18(土)、21(火)、22(水)	アニマル・メディカル・センター	

令和3年度「臨地実習1」(1年Bクラス) 実習日程表(案)

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
1	211052	11/20(土)、27(土)、12/4(土)	アニマル・メディカル・センター	
2	211053	11/20(土)、27(土)、12/4(土)	アニマル・メディカル・センター	
3	211054	12/4(土)、11(土)、18(土)	アニマル・メディカル・センター	
4	211055	12/11(土)、18(土)、25(土)	アニマル・メディカル・センター	
5	211056	12/11(土)、18(土)、25(土)	アニマル・メディカル・センター	
6	211057	12/25(土)、27(月)、28(火)	アニマル・メディカル・センター	
7	211058	12/27(月)、28(火)、1/8(土)	アニマル・メディカル・センター	
8	211059	12/27(月)、28(火)、1/8(土)	アニマル・メディカル・センター	
9	211060	1/8(土)、15(土)、22(土)	アニマル・メディカル・センター	
10	211061	1/15(土)、22(土)、2/4(金)	アニマル・メディカル・センター	
11	211062	1/15(土)、22(土)、2/4(金)	アニマル・メディカル・センター	
12	211063	2/4(金)、5(土)、7(月)	アニマル・メディカル・センター	
13	211064	2/5(土)、7(月)、9(水)	アニマル・メディカル・センター	
14	211065	2/5(土)、7(月)、9(水)	アニマル・メディカル・センター	
15	211066	2/9(水)、10(木)、12(土)	アニマル・メディカル・センター	
16	211067	2/10(木)、12(土)、17(木)	アニマル・メディカル・センター	
17	211068	2/10(木)、12(土)、17(木)	アニマル・メディカル・センター	
18	211069	2/17(木)、18(金)、19(土)	アニマル・メディカル・センター	
19	211070	2/18(金)、19(土)、21(月)	アニマル・メディカル・センター	
20	211071	2/18(金)、19(土)、21(月)	アニマル・メディカル・センター	
21	211072	2/21(月)、22(火)、24(木)	アニマル・メディカル・センター	
22	211073	2/22(火)、24(木)、25(金)	アニマル・メディカル・センター	
23	211074	2/22(火)、24(木)、25(金)	アニマル・メディカル・センター	
24	211075	2/25(金)、26(土)、28(月)	アニマル・メディカル・センター	
25	211076	2/26(土)、28(月)、3/1(火)	アニマル・メディカル・センター	
26	211077	2/26(土)、28(月)、3/1(火)	アニマル・メディカル・センター	
27	211078	3/1(火)、2(水)、3(木)	アニマル・メディカル・センター	
28	211079	3/2(水)、3(木)、4(金)	アニマル・メディカル・センター	
29	211080	3/2(水)、3(木)、4(金)	アニマル・メディカル・センター	
30	211081	3/4(金)、5(土)、7(月)	アニマル・メディカル・センター	
31	211082	3/5(土)、7(月)、8(火)	アニマル・メディカル・センター	
32	211083	3/5(土)、7(月)、8(火)	アニマル・メディカル・センター	
33	211084	3/8(火)、9(水)、10(木)	アニマル・メディカル・センター	
34	211085	3/9(水)、10(木)、11(金)	アニマル・メディカル・センター	
35	211086	3/9(水)、10(木)、11(金)	アニマル・メディカル・センター	
36	211087	3/11(金)、12(土)、14(月)	アニマル・メディカル・センター	
37	211088	3/12(土)、14(月)、15(火)	アニマル・メディカル・センター	

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
38	211089	3/12(土)、14(月)、15(火)	アニマル・メディカル・センター	
39	211090	3/15(火)、16(水)、17(木)	アニマル・メディカル・センター	
40	211091	3/16(水)、17(木)、18(金)	アニマル・メディカル・センター	
41	211092	3/16(水)、17(木)、18(金)	アニマル・メディカル・センター	
42	211093	3/18(金)、19(土)、22(火)	アニマル・メディカル・センター	
43	211094	3/19(土)、22(火)、23(水)	アニマル・メディカル・センター	
44	211095	3/19(土)、22(火)、23(水)	アニマル・メディカル・センター	
45	211096	3/23(水)、24(木)、25(金)	アニマル・メディカル・センター	
46	211097	3/24(木)、25(金)、26(土)	アニマル・メディカル・センター	
47	211098	3/24(木)、25(金)、26(土)	アニマル・メディカル・センター	

令和3年度「臨地実習2」(1年Aクラス) 実習日程表(案)

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
1	211001	2/4(金)、5(土)、6(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
2	211002	2/4(金)、5(土)、6(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
3	211003	2/6(日)、7(月)、9(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
4	211004	2/7(月)、9(水)、10(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
5	211005	2/7(月)、9(水)、10(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
6	211006	2/10(木)、12(土)、13(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
7	211007	2/12(土)、13(日)、17(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
8	211008	2/12(土)、13(日)、17(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
9	211009	2/17(木)、18(金)、19(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
10	211010	2/17(木)、18(金)、19(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
11	211011	2/18(金)、19(土)、20(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
12	211012	2/20(日)、21(月)、22(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
13	211013	2/20(日)、21(月)、22(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
14	211014	2/21(月)、22(火)、24(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
15	211015	2/24(木)、25(金)、26(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
16	211016	2/24(木)、25(金)、26(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
17	211017	2/26(土)、27(日)、28(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
18	211018	2/27(日)、28(月)、3/1(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
19	211019	2/27(日)、28(月)、3/1(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
20	211020	3/1(火)、2(水)、3(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
21	211021	3/2(水)、3(木)、4(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
22	211022	3/2(水)、3(木)、4(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
23	211023	3/4(金)、5(土)、6(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
24	211024	3/5(土)、6(日)、7(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
25	211025	3/5(土)、6(日)、7(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
26	211026	3/7(月)、8(火)、9(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
27	211027	3/8(火)、9(水)、10(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
28	211028	3/8(火)、9(水)、10(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
29	211029	3/10(木)、11(金)、12(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
30	211030	3/11(金)、12(土)、13(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
31	211031	3/11(金)、12(土)、13(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
32	211032	3/13(日)、14(月)、15(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
33	211033	3/14(月)、15(火)、16(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
34	211034	3/14(月)、15(火)、16(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
35	211035	3/16(水)、17(木)、18(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
36	211036	3/17(木)、18(金)、19(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
37	211037	3/17(木)、18(金)、19(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
38	211038	3/18(金)、19(土)、20(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
39	211039	3/20(日)、22(火)、23(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
40	211040	3/20(日)、22(火)、23(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
41	211041	3/22(火)、23(水)、24(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
42	211042	3/24(木)、25(金)、26(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
43	211043	3/24(木)、25(金)、26(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
44	211044	3/25(金)、26(土)、27(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
45	211045	3/27(日)、28(月)、29(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
46	211046	3/27(日)、28(月)、29(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
47	211047	3/28(月)、29(火)、30(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
48	211048	3/29(火)、30(水)、31(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
49	211049	3/29(火)、30(水)、31(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
50	211050	3/31(木)、4/1(金)、2(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
51	211051	4/1(金)、2(土)、3(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
52	201047	4/1(金)、2(土)、3(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	

令和3年度 臨地実務実習先施設一覧(動物病院)

番号	臨地実務実習施設の名称	都道府県	備考
1	アニマルメディカルセンター	東京都	
2	長津田ペットクリニック	神奈川県	
3	アマノ動物病院	東京都	
4	有限会社磯貝動物病院	東京都	
5	安田獣医科医院	東京都	
6	ハロー動物病院 韮鎌ヶ谷分院	千葉県	
7	ゼファー動物病院	東京都	
8	木もれ陽動物病院	東京都	
9	高木動物病院	東京都	
10	カトウ獣医科クリニック	神奈川県	
11	横浜青葉どうぶつ病院	神奈川県	
12	アルフペットクリニック	神奈川県	
13	よしだ動物病院	千葉県	
14	フローラル動物病院	千葉県	
15	さきがおか動物病院	千葉県	
16	いしじま動物病院	千葉県	
17	市原・山口動物病院	千葉県	
18	田中動物病院	埼玉県	
19	アステール動物病院	埼玉県	
20	戸田動物病院	埼玉県	
21	美園どうぶつ病院	埼玉県	
22	後藤動物病院	埼玉県	
23	イーリスペットクリニック	埼玉県	
24	東いわつき動物病院	埼玉県	
25	みさと動物病院	埼玉県	
26	どうぶつクリニックNEXT	埼玉県	
27	けやき動物病院 富士見	埼玉県	
28	動物病院くまごろう	埼玉県	
29	みねぎし動物病院	埼玉県	
30	エルザ動物小鳥の病院	東京都	
31	小動物診療所	東京都	
32	株式会社ワイ・エイ・シー ようが動物病院	東京都	
33	本駒込動物病院	東京都	
34	ひばり動物病院	東京都	
35	赤羽ペットクリニック	東京都	
36	梅島動物病院	東京都	
37	駒沢どうぶつ病院	東京都	
38	かいぬま動物病院	東京都	
39	とりうみ動物病院	神奈川県	
40	ふく動物病院	東京都	
41	チコラ動物病院	東京都	
42	みなみ小金井動物病院	東京都	
43	ボウズ動物病院	東京都	
44	ココ動物病院	神奈川県	
45	動物病院 川越	埼玉県	
46	株式会社T2コーポレーション たはら動物病院	神奈川県	
47	有限会社国領動物病院	東京都	
48	富士見台どうぶつ病院	東京都	
49	株式会社船橋どうぶつ病院	千葉県	
50	岡部獣医科病院	千葉県	
51	ぬのかわ犬猫病院	神奈川県	
52	吉田動物病院	東京都	
53	本郷獣医科病院	東京都	
54	ヴァンケット動物病院	東京都	
55	ロイヤルペットクリニック 西馬込病院	東京都	

番号	臨地実務実習施設の名称	都道府県	備考
56	サム動物病院	埼玉県	
57	動物病院ヘルスペット	神奈川県	
58	池田動物病院 成城通り	東京都	
59	溝の口犬猫病院	神奈川県	
60	かのペットクリニック	千葉県	
61	仲野どうぶつ病院	東京都	
62	ハリーペットクリニック	千葉県	
63	むかい猫と犬の病院	千葉県	
64	木村動物病院	東京都	
65	松原ペットクリニック	東京都	
66	セラピスト動物病院	東京都	
67	有限会社 ませ動物病院	神奈川県	
68	池田動物病院	東京都	
69	古谷動物病院	東京都	
70	湘南なぎさ動物病院	神奈川県	
71	桜ヶ丘どうぶつ病院	神奈川県	
72	久米川みどり動物病院	東京都	
73	セキ動物病院	千葉県	
74	辻堂犬猫病院	神奈川県	
75	広尾動物病院	東京都	
76	JOY動物病院	東京都	
77	株式会社フェイス1 竹原獣医科医院	神奈川県	
78	かぶくん動物病院	神奈川県	
79	アリーズ動物病院	東京都	
80	東京ウエスト動物病院	東京都	
81	野毛坂どうぶつ病院	神奈川県	
82	越谷動物医療センター	埼玉県	
83	葉山どうぶつ病院	神奈川県	
84	とねり動物病院	東京都	
85	大泉動物病院	東京都	
86	ピジョン動物愛護病院 鳩ヶ谷院	埼玉県	
87	ノブ動物病院	東京都	
88	中田動物病院	神奈川県	
89	アニマルクリニックこばやし	埼玉県	
90	みつわ台動物病院	千葉県	
91	アン動物病院	神奈川県	
92	松本動物病院	東京都	
93	オアシス動物病院	東京都	
94	上田動物病院	千葉県	
95	アニホスフォレスト株式会社 Pet Clinicアニホス	東京都	
96	西湘動物病院	神奈川県	
97	有限会社いちかわ動物病院	千葉県	
98	マーブル動物医療センター	神奈川県	
99	野田動物病院	神奈川県	
100	指扇ペットクリニック	埼玉県	
101	リバーズ動物病院	神奈川県	
102	七光台どうぶつ病院	千葉県	
103	東千葉動物医療センター	千葉県	令和2年5月に病院名・住所変更(旧:有限会社サワムラベッツ 沢村獣医科病院)
104	谷口動物病院	東京都	
105	動物病院NORIKO	東京都	
106	ワシントン動物病院	東京都	
107	コトー動物病院	埼玉県	
108	井上動物病院	東京都	
109	かわはら動物病院	千葉県	
110	一之江どうぶつ病院	東京都	

番号	臨地実務実習施設の名称	都道府県	備考
111	マリーナストリートおかだ動物病院	千葉県	
112	水上犬猫鳥の病院	神奈川県	
113	てらぞの動物病院	東京都	
114	ベルノス動物病院	東京都	
115	新習志野どうぶつ病院	千葉県	
116	千歳船橋あむ動物病院	東京都	
117	藤の花どうぶつ病院	千葉県	
118	公益財団法人 日本小動物医療センター	埼玉県	
119	海浜動物医療センター	千葉県	
120	はやし動物病院	千葉県	
121	城山通りどうぶつ園	埼玉県	
122	つなしま動物病院	神奈川県	
123	吉祥寺どうぶつ病院	東京都	
124	株式会社日本動物高度医療センター	神奈川県	
125	石黒動物病院	埼玉県	
126	よしむら動物病院	埼玉県	
127	七里動物病院	埼玉県	
128	ワラビー動物病院	埼玉県	
129	やまなか動物病院	神奈川県	
130	モフ動物病院	東京都	
131	エルム動物病院	東京都	
132	多摩クラーク動物病院	東京都	
133	株式会社GRAND DESIGN 明和動物愛護病院	神奈川県	
134	株式会社マイクレスト クレスト動物病院	神奈川県	
135	関水動物病院	神奈川県	
136	新浦安太田動物病院	千葉県	
137	ハダ動物病院	埼玉県	
138	あさか台動物病院	埼玉県	
139	アニムペットクリニック	東京都	
140	西荻動物病院	東京都	
141	上石神井動物病院	東京都	
142	ワラビー動物病院グループ はとがや動物病院	埼玉県	
143	どうぶつ眼科 Eye Vet	東京都	
144	合同会社 ゆう動物クリニック	埼玉県	
145	株式会社 港北どうぶつ病院	神奈川県	
146	くみ動物病院	神奈川県	
147	株式会社ZR オールペットクリニック	東京都	
148	タムどうぶつ病院	神奈川県	
149	山田動物病院	東京都	
150	湖畔どうぶつ病院	神奈川県	
151	山本どうぶつ病院	神奈川県	
152	有限会社さがみ中央動物医療センター	神奈川県	
153	ブライト動物病院	東京都	
154	向平動物病院	東京都	
155	株式会社Vets United アリサ動物病院	神奈川県	
156	高ヶ坂動物病院	東京都	
157	株式会社FIELD 森の樹どうぶつ病院	埼玉県	
158	高橋動物病院	東京都	
159	Willどうぶつ病院	東京都	
160	習志野動物医療センター りょう動物病院	千葉県	
161	グリーン動物病院	千葉県	
162	目黒洗足動物病院	東京都	
163	畑沢動物病院	千葉県	
164	小鳥のセンター病院	埼玉県	
165	どうぶつセンター病院	埼玉県	

令和3年度 臨地実務実習先施設一覧(動物関連企業等)

番号	臨地実務実習施設の名称	都道府県	備考
1	株式会社サンリング ペットサロンSIT	埼玉県	
2	ペットサロン モグMOGU	埼玉県	
3	ペットの保育園Will	東京都	
4	トリミングスタジオ Oasis	東京都	
5	Pet's Life	東京都	
6	ドッグサロンLC	東京都	
7	PET SALON KUMIKO	東京都	
8	Supreme舞浜スタジオ	千葉県	
9	株式会社BELL-PET	東京都	
10	株式会社ワイズドギー 渋谷西武モントウトウ	東京都	
11	グルーミングサロン グリム	東京都	
12	ANIER-Dog Grooming Room-	東京都	
13	Pet Salon Jupiter	東京都	
14	Dog Grooming Salon Cotaz	東京都	
15	Dog Place Oasis	東京都	
16	ペットサロンうちの仔	神奈川県	
17	株式会社DLC DOGLIFE 川口店	埼玉県	
18	株式会社DLC DOGLIFE 浦和店	埼玉県	
19	シブヤ・ドッグ・ビューティー	東京都	
20	アトリエモモワン	東京都	令和2年夏より休業
21	ペットショップ池袋ジュニア	東京都	
22	株式会社オーグ うさぎのしっぽ 横浜店	神奈川県	
23	株式会社モントウトウ	東京都	
24	ペットの専門店コジマ 新宿店	東京都	
25	ペットの専門店コジマ 八王子店	東京都	
26	ペットの専門店コジマ 松戸店	千葉県	
27	ペットの専門店コジマ 竹ノ塚店	東京都	
28	ペットの専門店コジマ 青戸店	東京都	
29	ペットの専門店コジマ 浦和店	埼玉県	
30	ペットの専門店コジマ 花小金井店	東京都	
31	ペットの専門店コジマ 大宮店	埼玉県	
32	ペットの専門店コジマ 目黒店	東京都	
33	ペットの専門店コジマ 相模原店	神奈川県	
34	ペットの専門店コジマ 川越店	埼玉県	
35	ペットの専門店コジマ 洗足店	東京都	
36	ペットの専門店コジマ 足立店	東京都	
37	ペットの専門店コジマ 高井戸店	東京都	
38	ペットの専門店コジマ 中野店	東京都	
39	ペットの専門店コジマ 三軒茶屋店	東京都	
40	ペットの専門店コジマ 阿佐ヶ谷店	東京都	
41	ペットの専門店コジマ 新小岩店	東京都	
42	ペットの専門店コジマ 板橋店	東京都	
43	ペットの専門店コジマ 練馬店	東京都	
44	ペットの専門店コジマ 亀戸店	東京都	
45	ペットの専門店コジマ 三郷店	埼玉県	
46	ペットの専門店コジマ アリオ葛西店	東京都	
47	ペットの専門店コジマ ベイタウン横浜本牧店	神奈川県	
48	ペットの専門店コジマ アリオ柏店	千葉県	
49	ペットの専門店コジマ 西篠崎店	東京都	
50	ペットの専門店コジマ アリオ蘇我店	千葉県	
51	ペットの専門店コジマ アリオ西新井店	東京都	
52	ペットの専門店コジマ アリオ市原店	千葉県	
53	ペットの専門店コジマ フォルテ津田沼店	千葉県	
54	ペットの専門店コジマ 六本木店	東京都	
55	ペットの専門店コジマ アリオ深谷店	埼玉県	

番号	臨地実務実習施設の名称	都道府県	備考
56	ペットの専門店コジマ アリオ橋本店	神奈川県	
57	ペットの専門店コジマ 国分寺店	東京都	
58	ペットの専門店コジマ 府中店	東京都	
59	ペットの専門店コジマ アリオ北砂店	東京都	
60	ペットの専門店コジマ モラージュ菖蒲店	埼玉県	
61	ペットの専門店コジマ イーアスつくば店	茨城県	
62	ペットの専門店コジマ 田端店	東京都	
63	ペットの専門店コジマ アリオ亀有店	東京都	
64	ペットの専門店コジマ 蕨錦町店	埼玉県	
65	ペットの専門店コジマ 和光店	東京都	
66	アサヒペット株式会社 都筑店	神奈川県	
67	アサヒペット株式会社 多摩店	東京都	
68	アサヒペット株式会社 湘南店	神奈川県	
69	アサヒペット株式会社 MARK IS みなとみらい店	神奈川県	
70	アサヒペット株式会社 港北ニュータウン店	神奈川県	
71	アサヒペット株式会社 トレッサ横浜店	神奈川県	
72	アサヒペット株式会社 二俣川本店	神奈川県	
73	DOG'S CARE JOKER 六本木ヒルズ店	東京都	
74	DOG&CAT JOKER ららぽーと柏の葉店	千葉県	
75	DOG&CAT JOKER ららぽーと横浜店	神奈川県	
76	DOG&CAT JOKER そごう横浜店	神奈川県	
77	DOG&CAT JOKER そごう大宮店	埼玉県	
78	JOKER DOG&CAT AVENUE 二子玉川店	東京都	
79	DOG&CAT JOKER むさし村山店	東京都	
80	ヨネヤマプランテーション 本店	神奈川県	
81	ペットエコ横浜 港北ニュータウン店	神奈川県	
82	ペットエコ横浜 湘南店	神奈川県	
83	ペットエコ横浜 都筑店	神奈川県	
84	ペットエコ横浜 多摩店	東京都	
85	ペットエコ横浜 世田谷店	東京都	
86	ペットエコDPO 元住吉店	神奈川県	
87	ペットエコ トレッサ横浜店	神奈川県	
88	ペットエコ DPO 大口店	神奈川県	
89	ペットエコ横浜 上大岡店	神奈川県	
90	ペットエコ 多摩本店	東京都	
91	吉田観賞魚販売株式会社 ヨシダ・フィッシュファームズ	東京都	
92	クラブケンケン田園調布店	東京都	
93	株式会社ツルサーサービス のんびーはうす	埼玉県	
94	大井警察犬訓練所	埼玉県	
95	株式会社フロムパピー ファミリーナガーデン南青山	東京都	
96	株式会社プレイボウ PLAYBOW 稲城店	東京都	
97	株式会社プレイボウ PLAYBOW 向ヶ丘遊園店	神奈川県	
98	株式会社プレイボウ PLAYBOW 中目黒店	東京都	
99	株式会社Animal Life Solutions スタディ・ドッグ・スクール	神奈川県	
100	デイケアガーデン グリーングラスロッジ	東京都	
101	わんにゃんハウス・オレンジ	千葉県	施設名変更(旧:老犬ホームあしあと)
102	株式会社エモーショナル・イノベーション DOG PARTNERS	神奈川県	
103	東京ペットホーム	東京都	
104	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート富士	山梨県	
105	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート箱根雲外荘	神奈川県	
106	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート御影用水	長野県	
107	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート蓼科	長野県	
108	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート旧軽井沢	長野県	
109	株式会社共立メンテナンス ルシアン旧軽井沢	長野県	
110	株式会社フリーステッチ	東京都	
111	ZOO JAPAN co.,ltd.	東京都	
112	ZOO新大久保	東京都	

番号	臨地実務実習施設の名称	都道府県	備考
113	ZOO四ツ谷	東京都	
114	ZOO恵比寿	東京都	
115	ZOO六本木	東京都	
116	ZOO新宿	東京都	
117	ZOO渋谷サロン	東京都	
118	GREEN DOG SQUARE	兵庫県	
119	GREEN DOG 東京ミッドタウン	東京都	
120	GREEN DOG 代官山	東京都	
121	GREEN DOG 湘南	神奈川県	
122	ビューティプラステラスモール湘南	神奈川県	
123	イオンペット テラスモール湘南	神奈川県	
124	イオンペットしつけ教室 浦和美園	埼玉県	
125	イオンペットビューティサロン 浦和美園	埼玉県	
126	イオンペット 浦和美園	埼玉県	
127	イオンペットビューティサロンベコスレイクタウン	埼玉県	
128	PECOS レイクタウン	埼玉県	
129	ペテモ 与野	埼玉県	
130	ペテモビューティサロン 与野	埼玉県	
131	イオンペットビューティサロン 相模原	神奈川県	
132	イオンペット 相模原	神奈川県	
133	相模原どうぶつ医療センター しつけ教室	神奈川県	
134	ペットインロイヤル幕張新都心	千葉県	
135	ドッグトレーニング ベコス幕張新都心店	千葉県	
136	イオンペットビューティサロン ベコス幕張新都心店	千葉県	
137	イオン動物医療センター幕張新都心(介護)	千葉県	
138	pecos 幕張新都心店	千葉県	
139	イオンペット柏	千葉県	
140	イオンペットビューティサロン 柏	千葉県	
141	イオンペットビューティサロン 千葉ニュータウン	千葉県	
142	イオンペット 千葉ニュータウン	千葉県	
143	ペテモ 日の出	東京都	
144	イオンしつけ教室 日の出	東京都	
145	ペテモビューティサロン 日の出	東京都	
146	乗馬クラブクレイン東京	埼玉県	
147	株式会社湘南動物プロダクション	千葉県	
148	アニコム損害保険株式会社	東京都	
149	ペットメディカルサポート株式会社	東京都	
150	公益財団法人 日本動物愛護協会	東京都	
151	公益財団法人 日本盲導犬協会 日本盲導犬総合センター	静岡県	
152	社会福祉法人 日本介助犬協会	神奈川県	
153	特定非営利活動法人 聴導犬育成の会	神奈川県	
154	特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会	東京都	
155	公益社団法人 日本動物福祉協会 新東京支部	東京都	

[2. 校舎等建物の面積を減じようとする場合及び建築計画が遅延する場合の様式例]

建築等設置計画変更書

平成31年度開設

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科		
建物区分	認可時の計画	変更計画
① [面積の減少] 体育館等 運動場	242.32㎡ 152.19㎡	0㎡ 0㎡
② [建築計画の変更] 2号館B棟	令和3年11月完成予定	令和3年12月完成予定
	<p>①老朽化のため建替え。工事期間中は代替措置として、1号館5階351・352教室を1つの講義室兼実習室として「コンパニオンドッグトレーニング実習」を行っている。なお、この2教室を実習授業で使用しても、他の教室で十分に授業運営が可能であり、支障はない。</p> <p>②昨年提出時の工期計画(令和2年11月～令和2年11月)は建築契約(令和2年11月)以前の予定であり、実際の契約において工期は令和2年11月～令和3年12月となった。授業への支障はない。</p>	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、上記様式により提出してください。
ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積の減少及び校舎建て替えの場合には、変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には、工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。